

令和5年度 卒業時における学修成果達成度調査報告書

令和6年6月5日

別府大学

大学企画運営会議

IRセンター

卒業時における学修成果達成度調査報告

別府大学 IR センター

卒業時における学習成果達成度調査の目的

本学では平成 30 年に 3 ポリシーの見直しを実施し PDCA サイクルのシステムを確立した。この PDCA サイクルにおいて、学修成果の評価指標の一つとして学生自身による学修達成度評価を掲げており、すでに「ポートフォリオ学修支援システム」において半期毎に学生による履修科目毎の自己評価が実施・蓄積され学生指導・教育改善に活用されているところである。本学の教育・研究環境のさらなる向上を目的として、この科目毎の学修達成度の自己評価を総括するための在学期間全体を通じた学修成果の達成度調査を卒業時に実施する。

1. 調査の実施方法

調査の実施は、原則として e-learning システム (moodle) のアンケート機能を利用して、ネットワーク上からの回答とした。個別に筆記による回答が必要なものについては、印刷したものに回答を願い、代理入力を行った。

調査対象

別府大学全学部全学科を卒業することが確定している学生 554 名を調査対象とした。中間的な回答状況を把握し、未回答者は試験期間や卒論発表等で個別指導を願った。さらに成績発表時や、卒業式終了後などで調査用紙または web どちらかの回答を求めていくことで回答率 90%以上を目標とした。

調査期間

調査期間は、9 月卒業生は、2023 年 8 月 2 日～9 月 12 日及び 3 月卒業生は、2024 年 1 月 9 日～3 月 20 日を調査期間として、調査を実施した。

調査内容

調査の内容は本学のディプロマポリシーで設定されている項目に基づいて、1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する質問（8 項目）、2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）に関する質問（2 項目）、3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）に関する質問（5 項目）、その他（正課外活動の状況など）として、自由回答 3 問を含む 9 項目について、学生がどのような主観的達成度を感じているかについて調査した。

調査の各設問については、資料 1 として、本報告書の文末に添付した。

2. 調査実施結果

1) 学習成果達成度調査の回収実績

各学科の卒業生数と調査回答数と回答率を下の表1にまとめた。大学全体での回答実績は94%となった。

表1. 卒業時における学習成果達成度調査回答状況

所属学科	卒業生数	回答数	未回答数	回答率
国際言語・文化学科	97	96	1	99%
史学・文化財学科	126	122	4	97%
人間関係学科	79	74	5	94%
食物栄養学科	83	83	0	100%
発酵食品学科	32	32	0	100%
国際経営学科	137	116	21	85%
計	554	523	31	94%

自由記述については、個人情報保護の観点から内容を一部削除又は変更しております。

調査項目ごとに、大学全体及び学科別の主観的修得状況についての集計結果をそれぞれの百分率により、グラフ化した。

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）

教養の（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）の項目として、(1) 思考力や表現力などの基礎的素養、(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解、(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力、(4) 人間と文化の探求に必要な教養、(5) 現代社会の理解に必要な教養、(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養、(7) 情報処理の基本的なリテラシー、(8) 英語の基本的なリテラシーの修得について質問を行った。

(1) 思考力や表現力などの基礎的素養（全学・各学科）

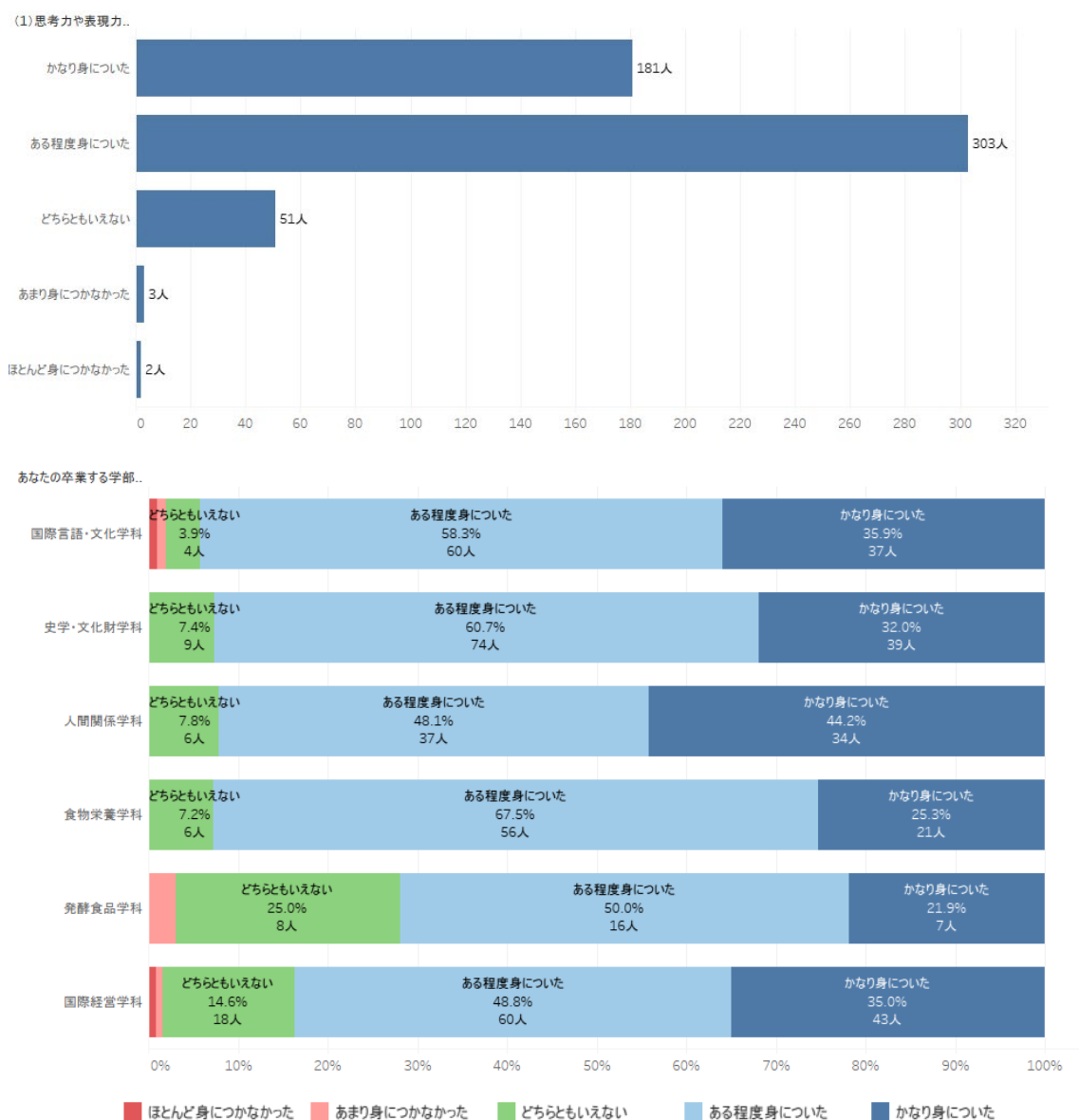


図1. 思考力や表現力などの基礎的素養の修得に対する主観的評価

思考力や表現力などの基礎的素養について大学全体では89%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値になっている。

(2) 本学の建学の理念、教育方針等の理解（全学・各学科）

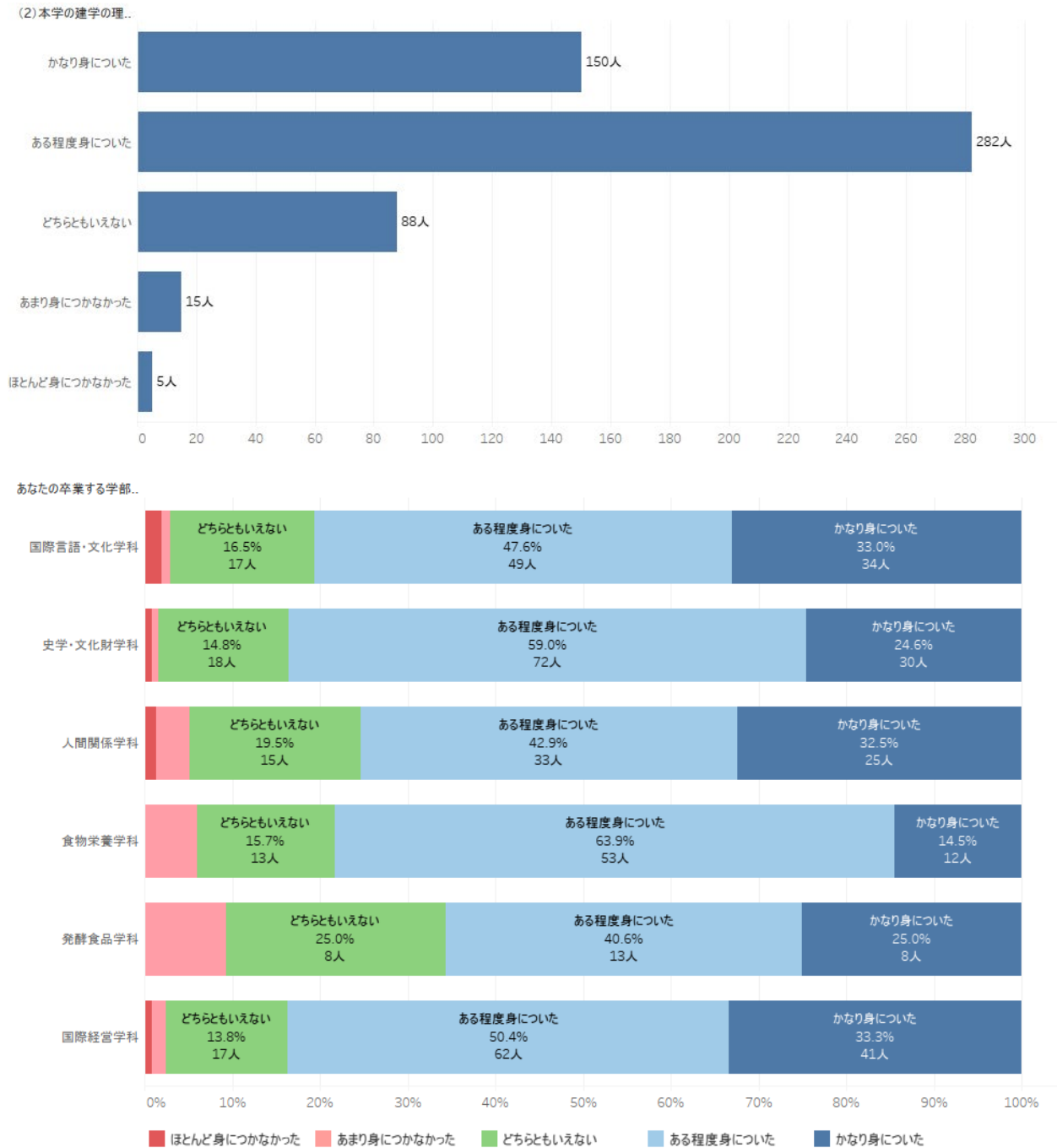


図2. 本学の建学の理念、教育方針等の理解に対する主観的評価

本学の建学の理念、教育方針等の理解について大学全体では80%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値になっている。

(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力（全学・各学科）

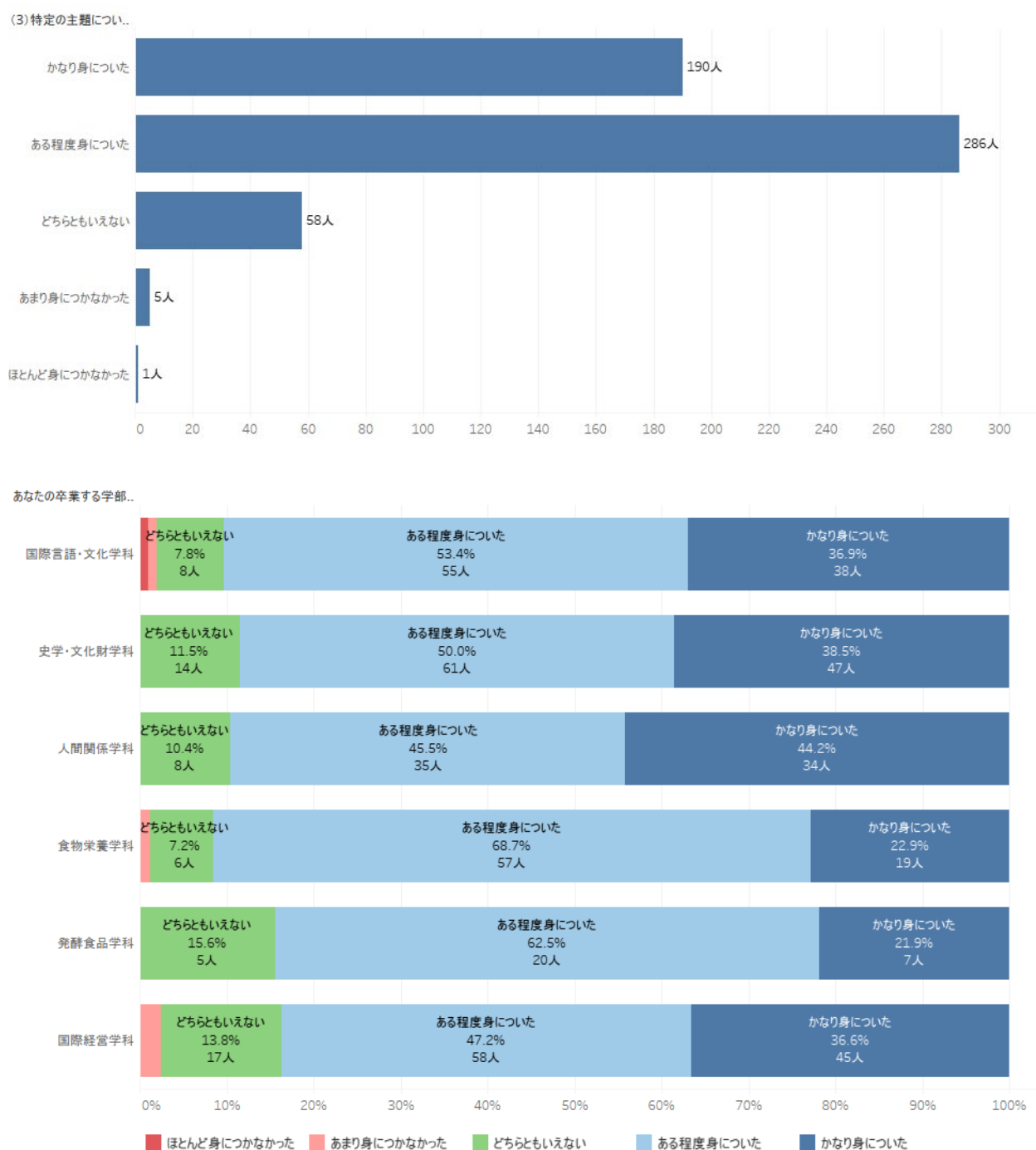
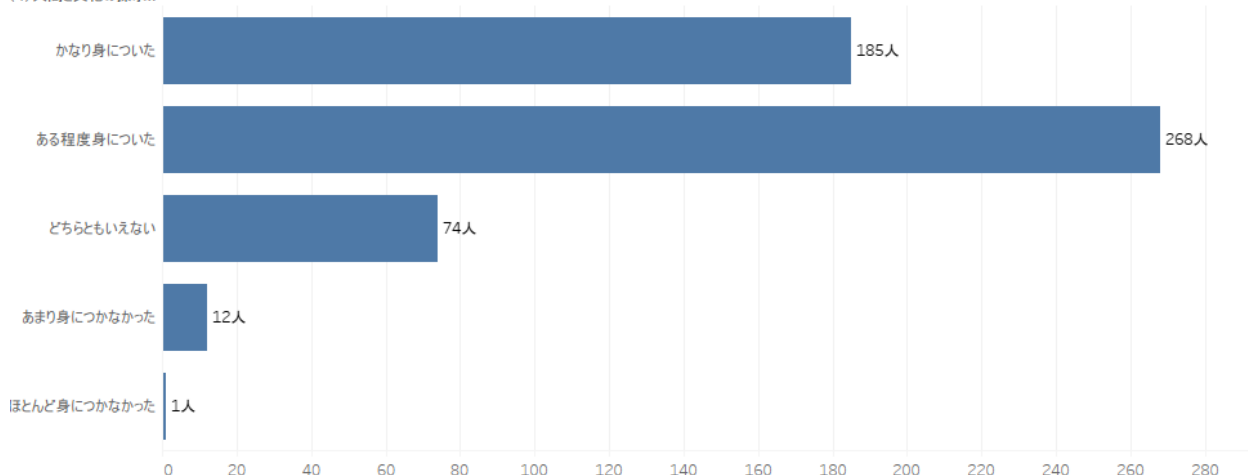


図3. 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力の修得に対する主観的評価

特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力について、大学全体では 88%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値となっている。

(4) 人間と文化の探求に必要な教養（全学・各学科）

(4) 人間と文化の探求..



あなたの卒業する学部..

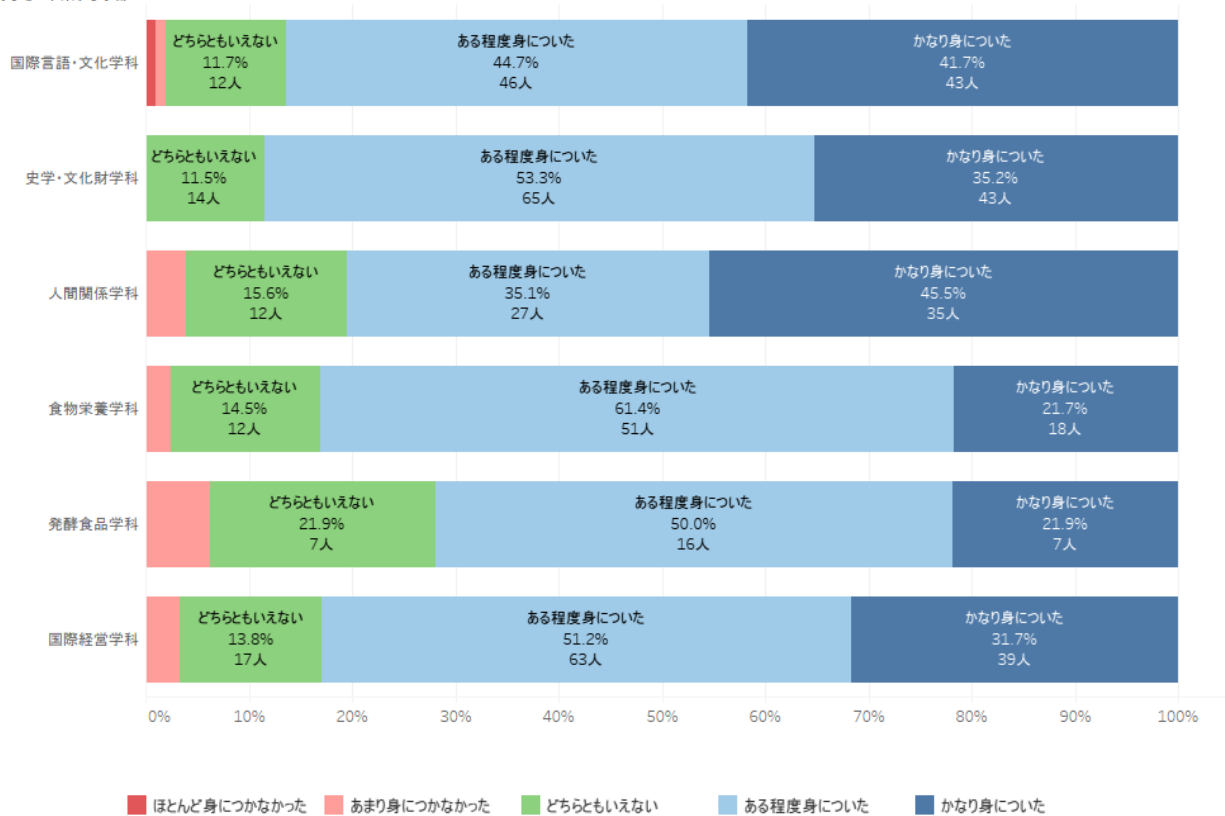
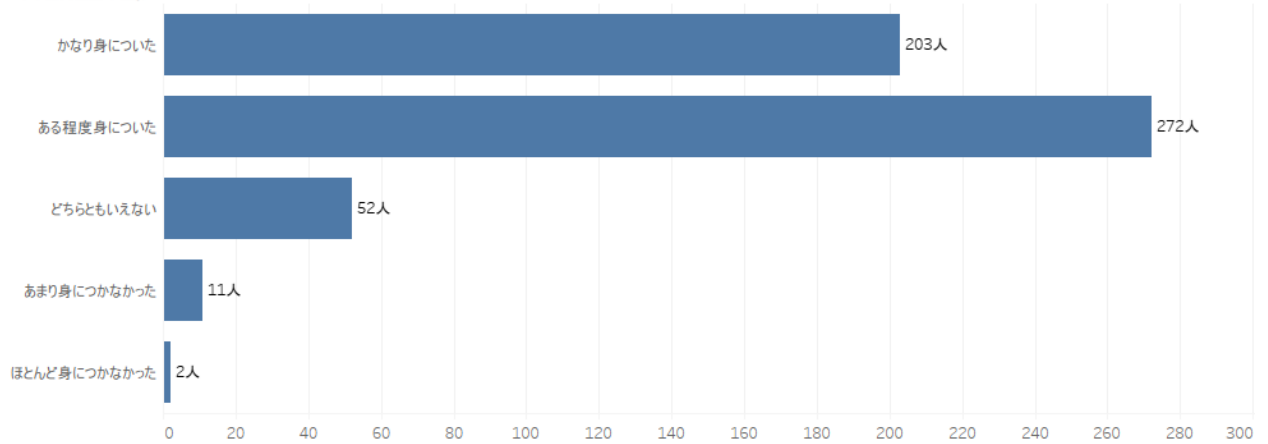


図4. 人間と文化の探求に必要な教養の修得に対する主観的評価

人間と文化の探求に必要な教養について大学全体では 83%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値となっている。

(5) 現代社会の理解に必要な教養（全学・各学科）

(5)現代社会の理解..



あなたの卒業する学部..

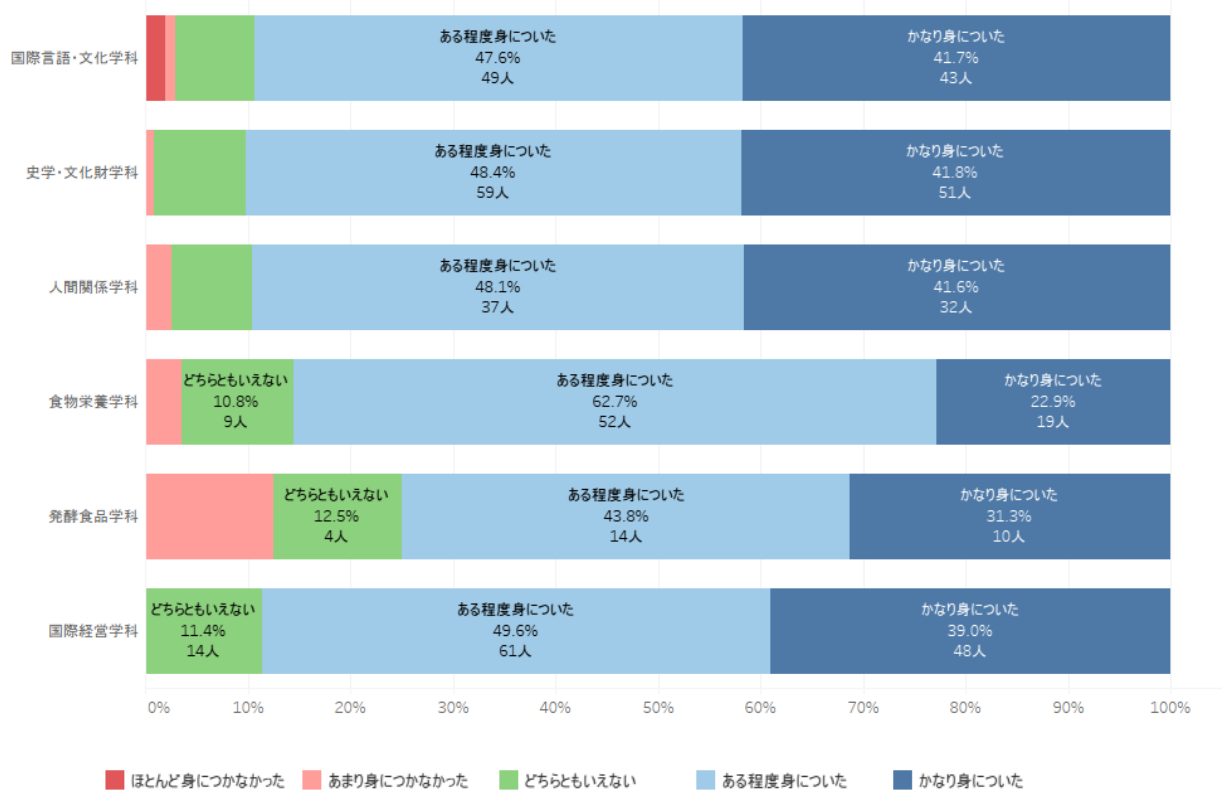


図5. 現代社会の理解に必要な教養の修得に対する主観的評価

現代社会の理解に必要な教養について大学全体では 87%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い数値となっている。

(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養（全学・各学科）

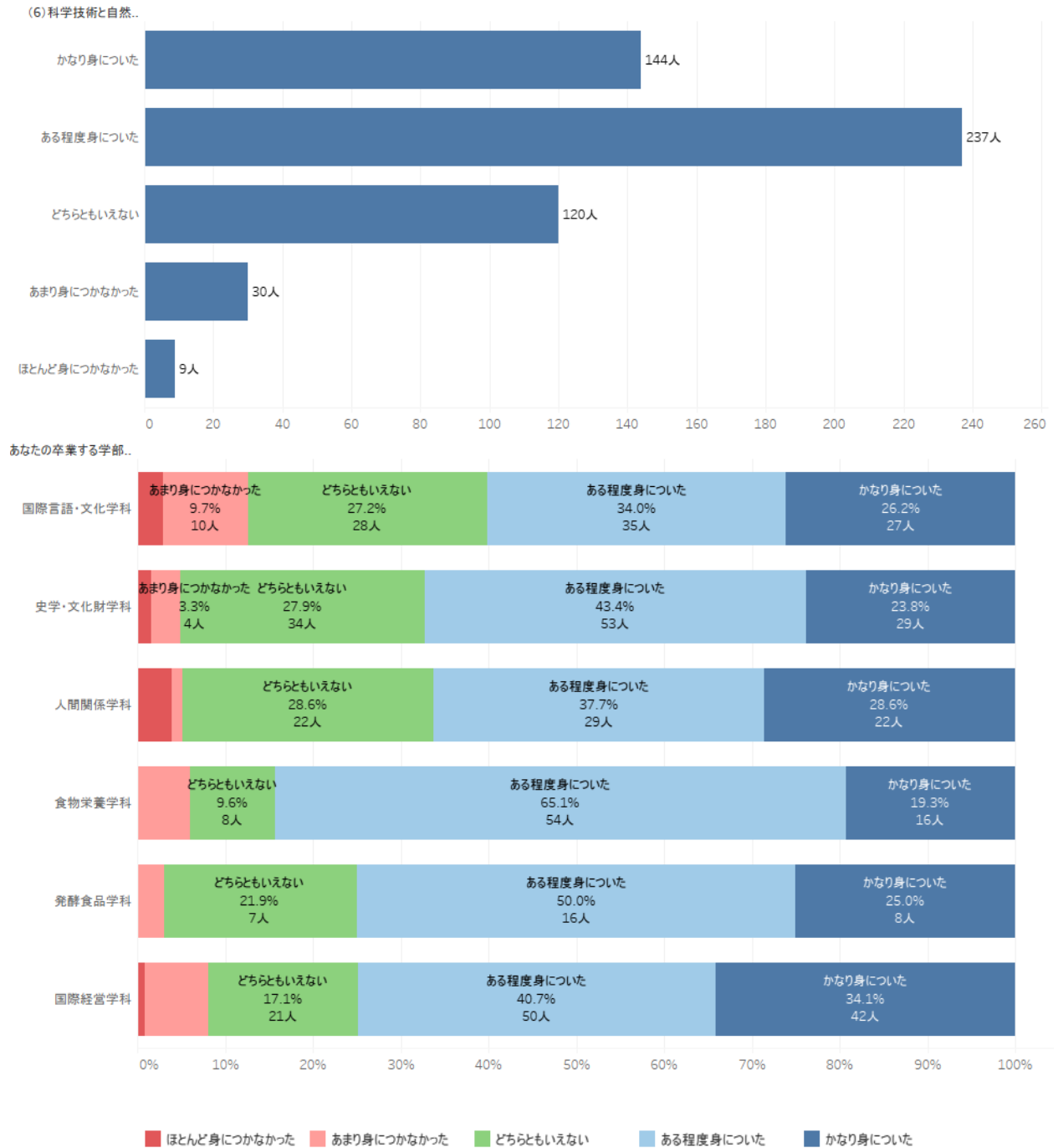


図 6. 科学技術と自然環境の理解に必要な教養の修得に対する主観的評価

科学技術と自然環境の理解に必要な教養について大学全体では 70%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。国際言語・文化学科は、60%とやや低い値を示した。食物栄養学科は 84%と高い値となっている。

(7) 情報処理の基本的なリテラシー（全学・各学科）

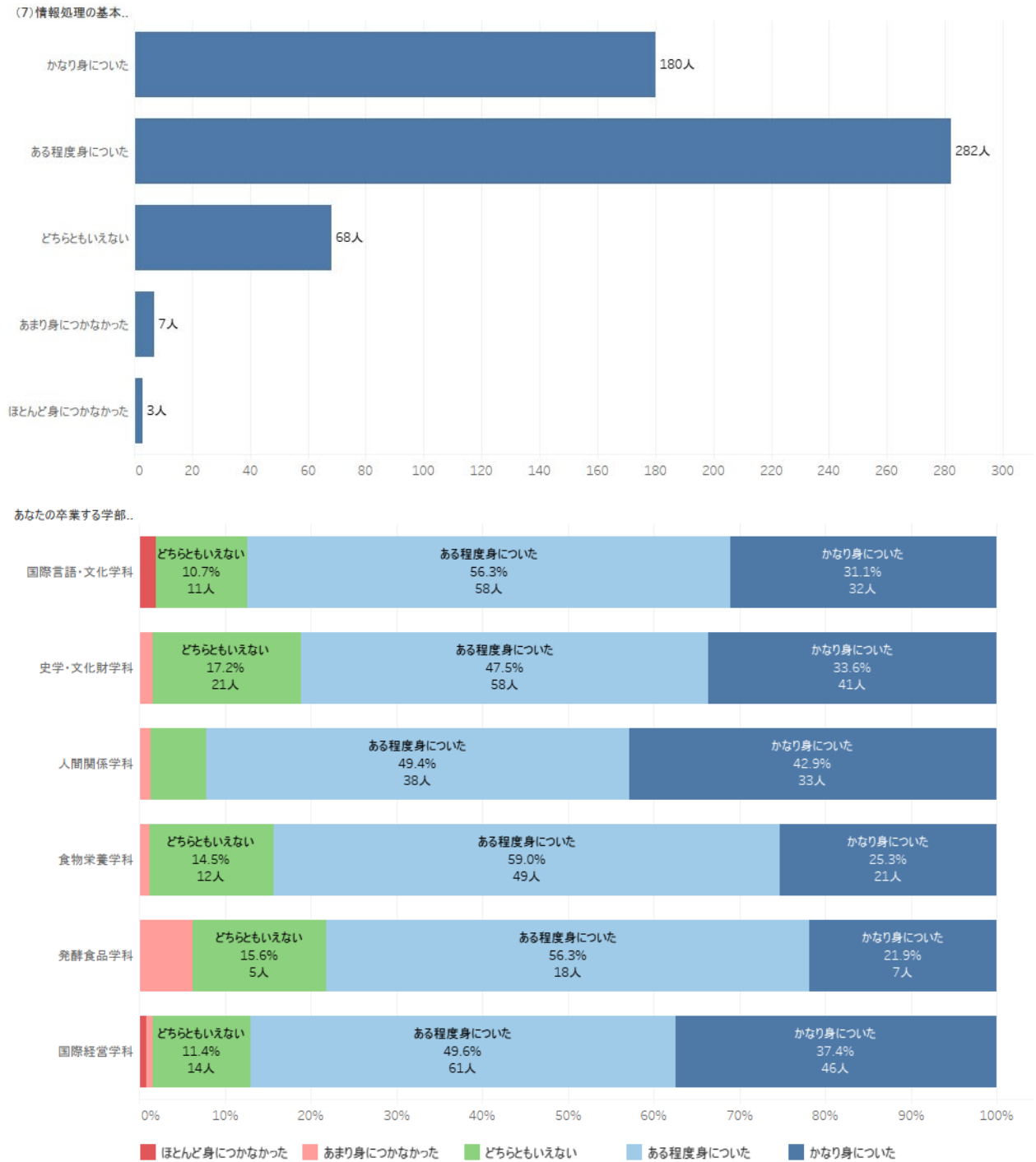


図7. 情報処理の基本的なリテラシーの修得に対する主観的評価

情報処理の基本的なリテラシーについて大学全体では 85%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。人間関係学科は 90%とかなり高い値を示した。

(8) 英語の基本的なリテラシー（全学・各学科）

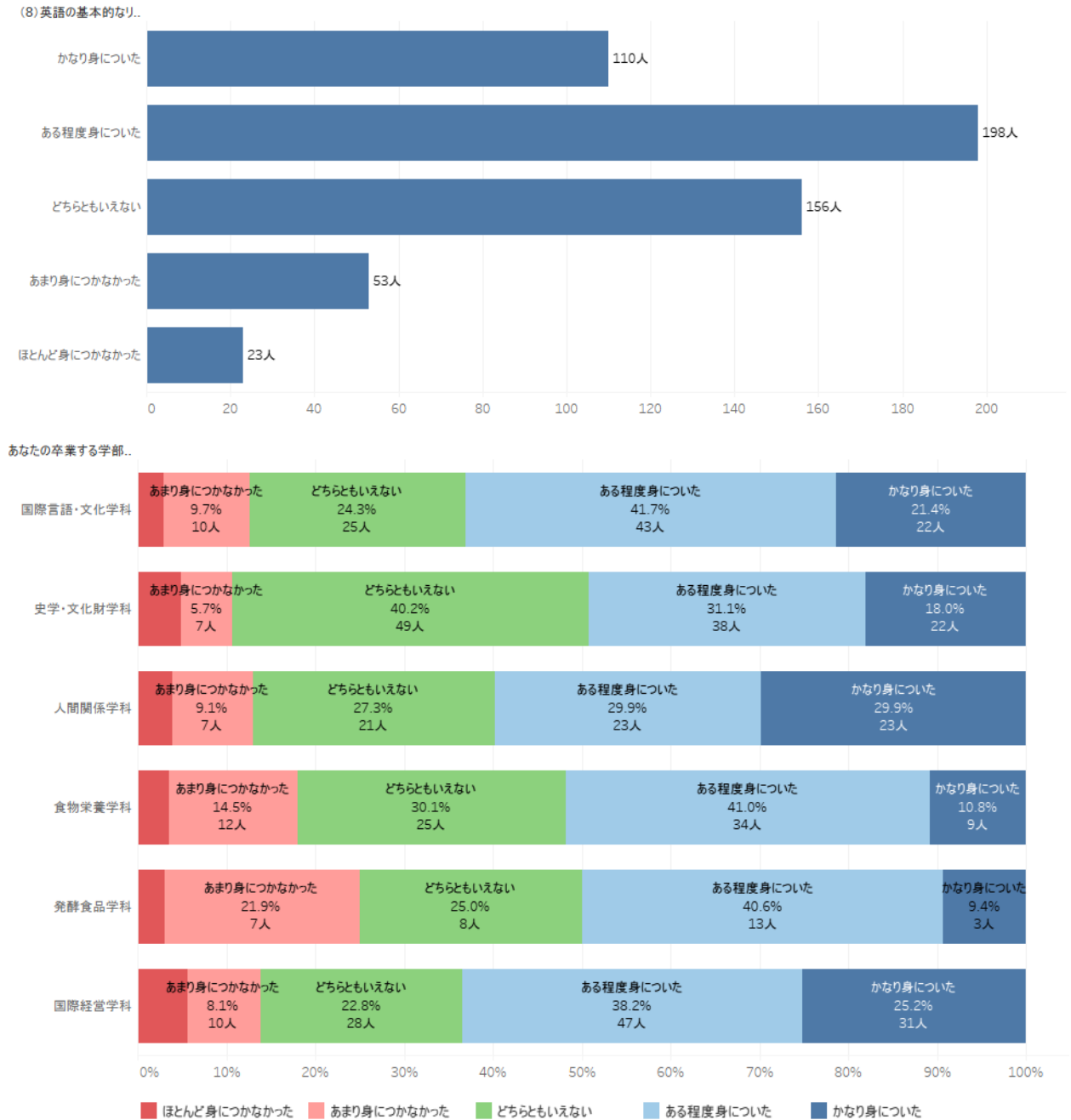


図8. 英語の基本的なリテラシーの修得に対する主観的評価

英語の基本的なリテラシーについて大学全体では 57%の学生が、「ある程度身についた」以上で低い回答になっている。

2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）

専門力について（1）専門分野の基本的な知識や技術の修得状況、（2）専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解の2点について主観的修得状況を問う質問を行った。

（1）専門分野の基本的な知識や技術の修得状況（全学・各学科）

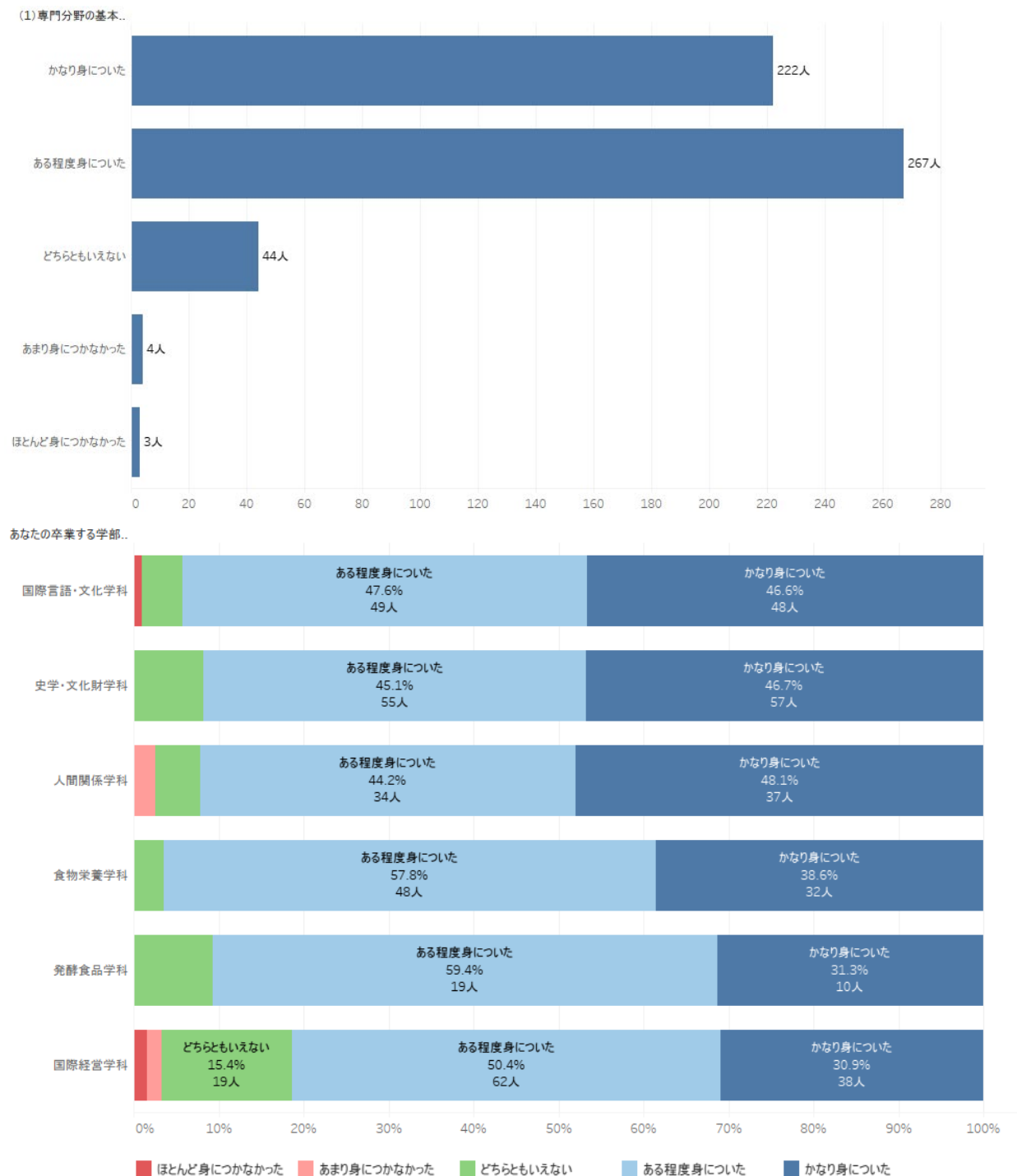


図9. 専門分野の基本的な知識や技術の修得に対する主観的評価

専門分野の基本的な知識や技術の修得について大学全体では90%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い値を示した。

(2) 専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解 (全学・各学科)

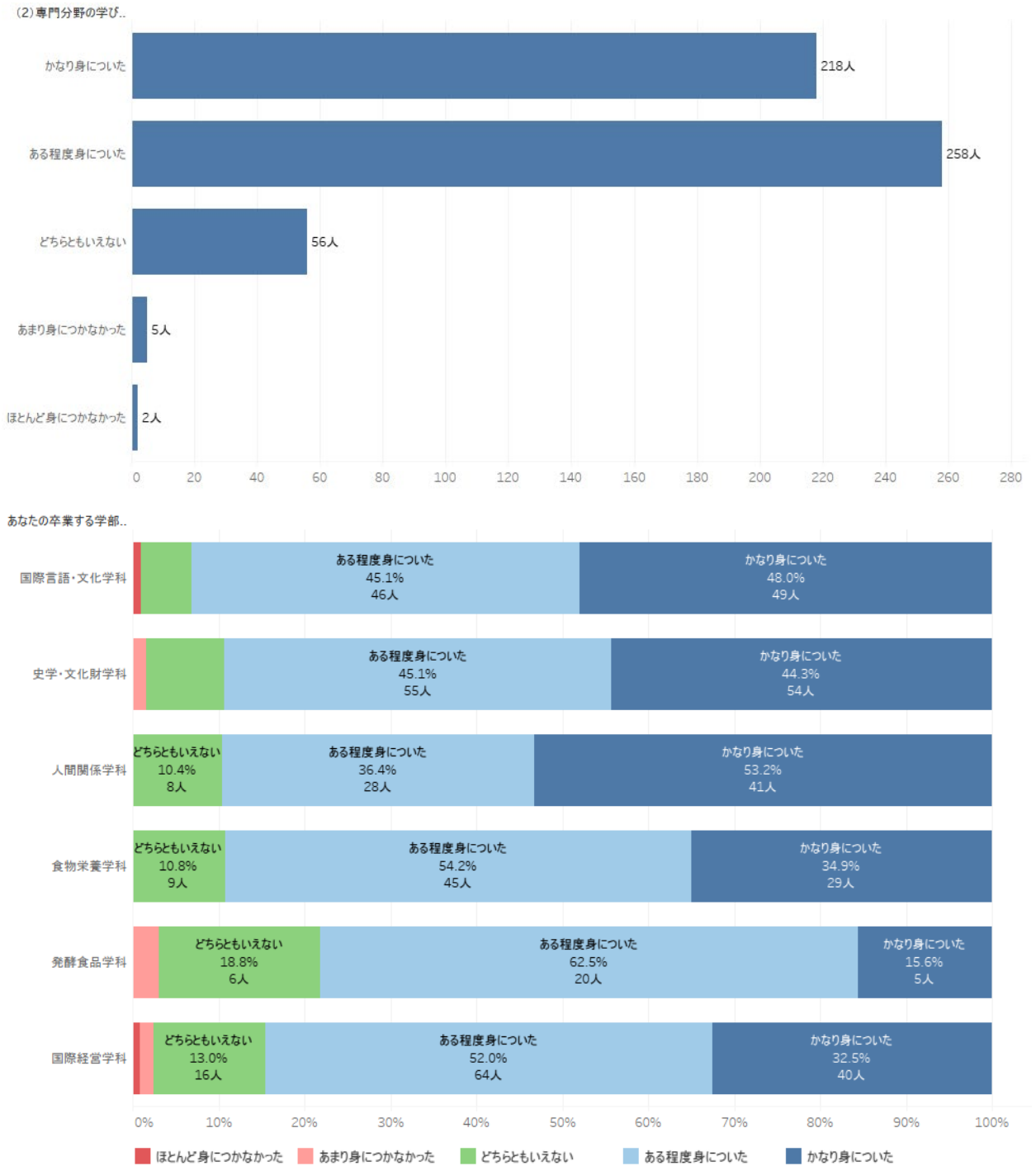


図 10. 専門分野のもつ社会的な意義を明確な理解の修得に対する主観的評価

専門分野のもつ社会的な意義の明確な理解について大学全体では 88%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い値を示した。

3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）

汎用力（社会で活躍できる汎用性のある能力）の修得については、(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）、(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）、(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力、(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけ、豊かなコミュニケーション力、(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集・分析力、PCスキルなどを含む)について、主観的修得状況を質問した。

(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）（全学・各学科）

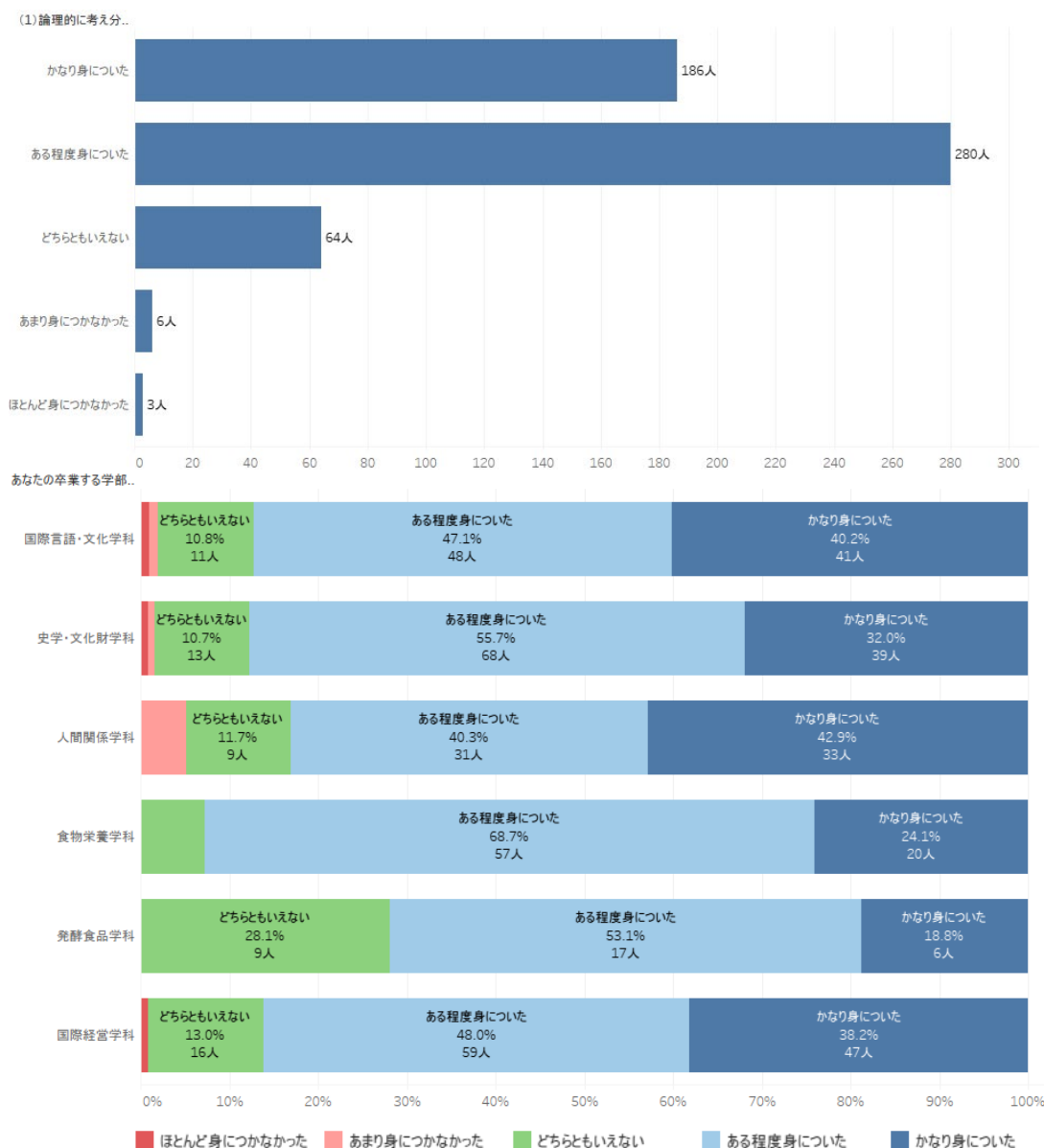


図 11. 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力の修得に対する主観的評価

論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力（判断力、創造力、企画力などを含む）について大学全体では86%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科は90%を超える高い値を示した。

(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）（全学・各学科）

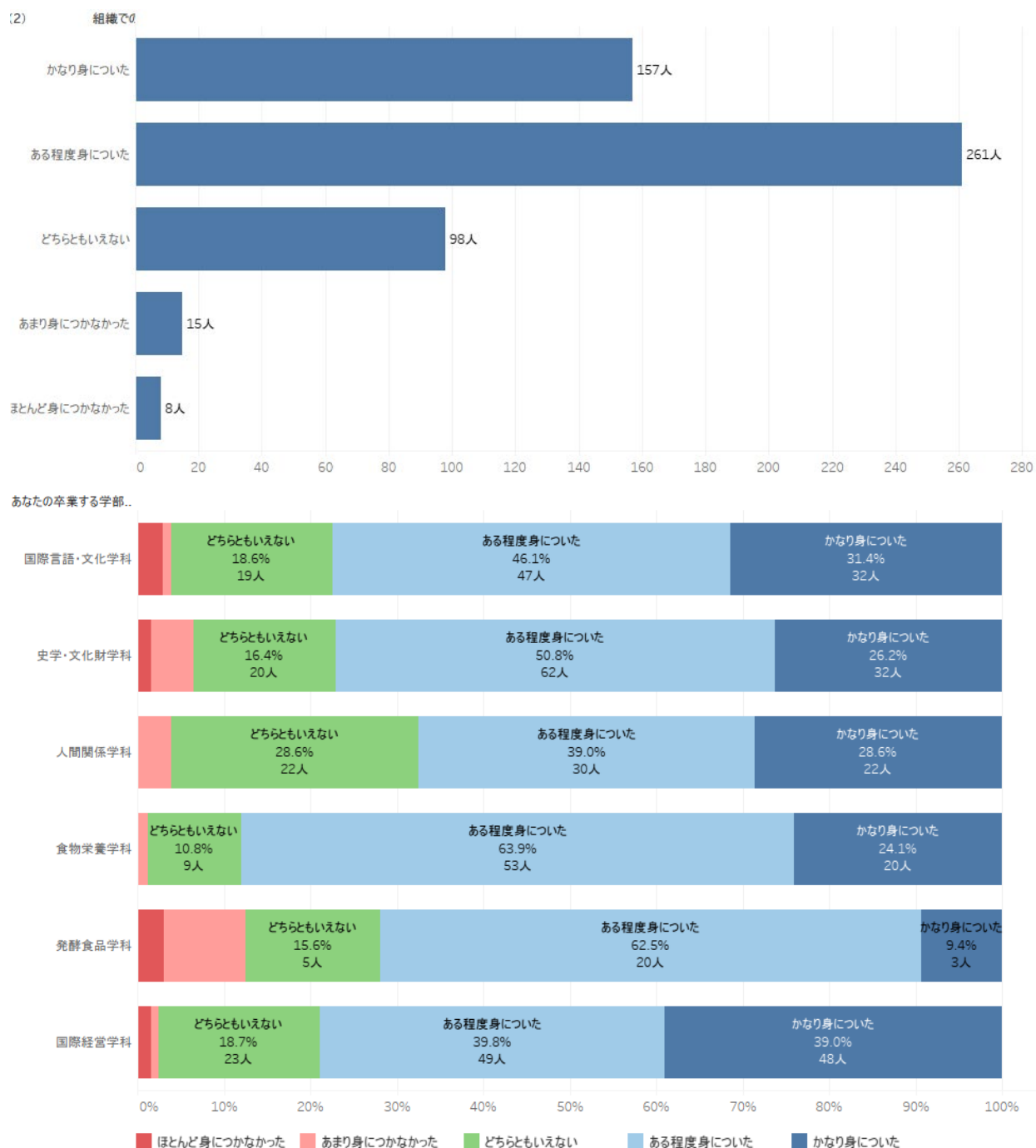


図 12. 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）の修得に対する主観的評価

組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力（主体性、協働力、傾聴力などを含む）について大学全体では 77%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。食物栄養学科は 80%を超える値を示した。

(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力（全学・各学科）

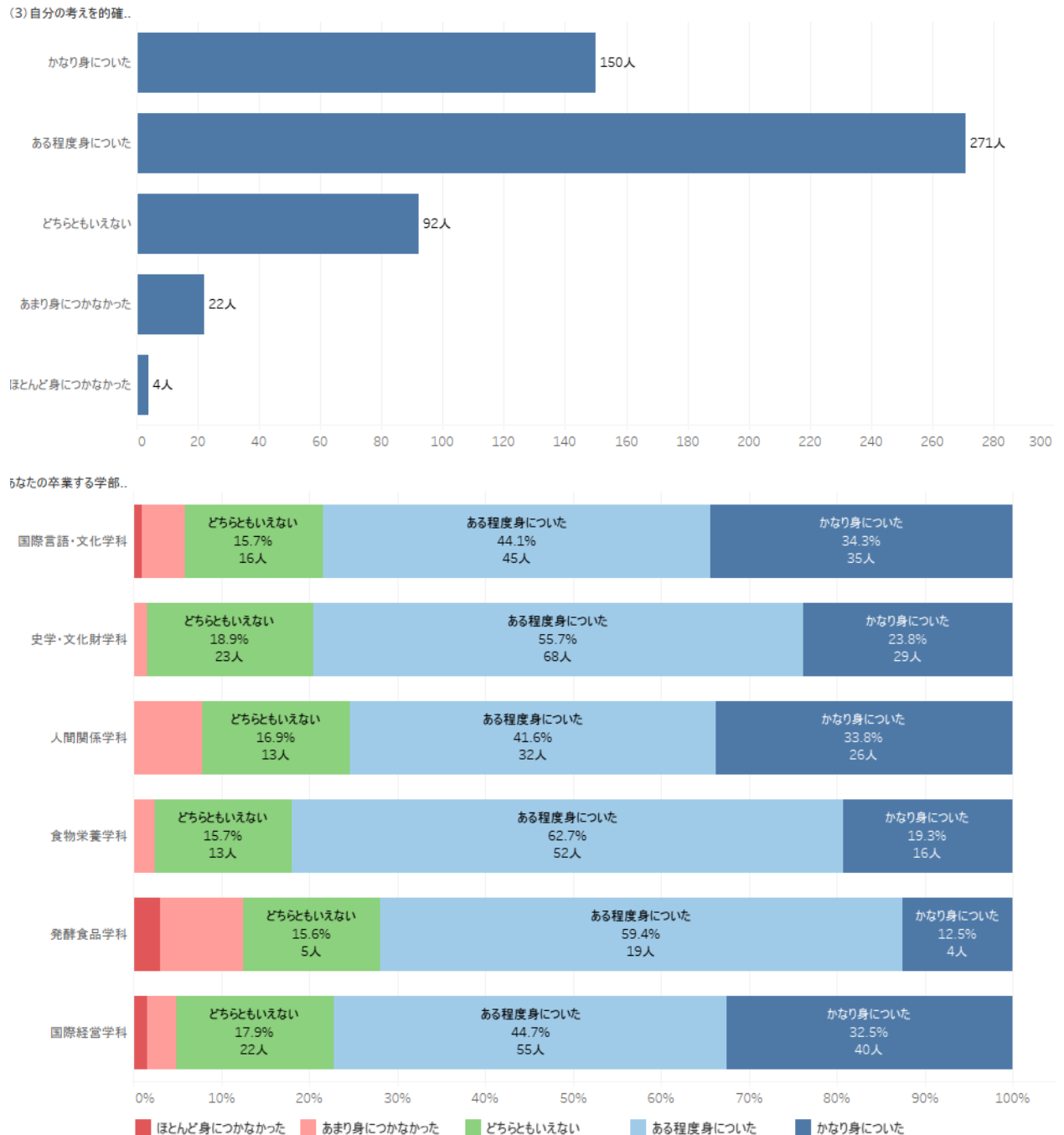


図 13. 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力の修得に対する主観的評価

自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力について大学全体では 78%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。

(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力 (全学・各学科)

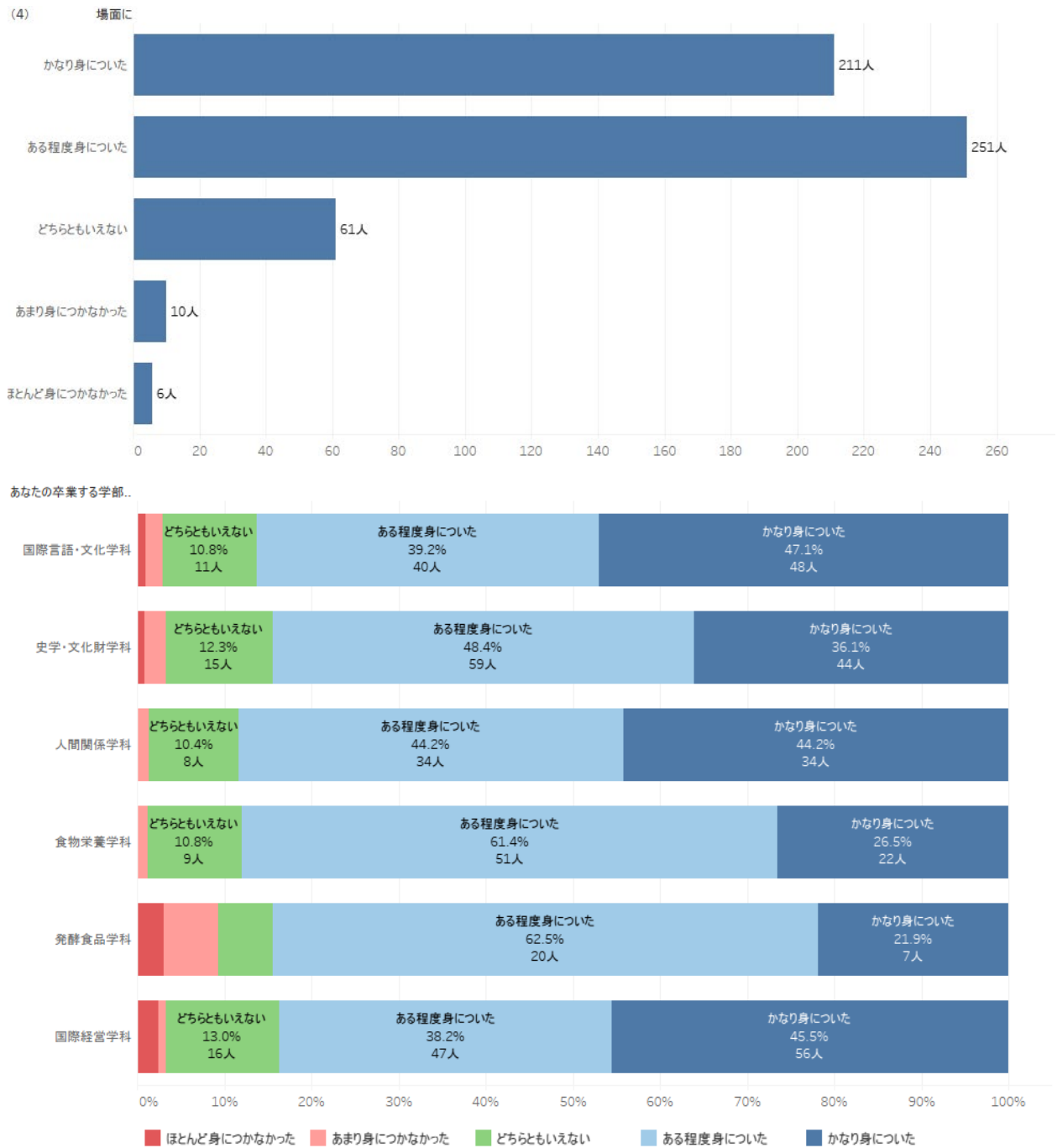


図 14. 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力の修得に対する主観的評価

場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけた、豊かなコミュニケーション力について大学全体では 85%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。全学科高い値を示した。

(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力(情報収集・分析力、PCスキルなどを含む)(全学・各学科)

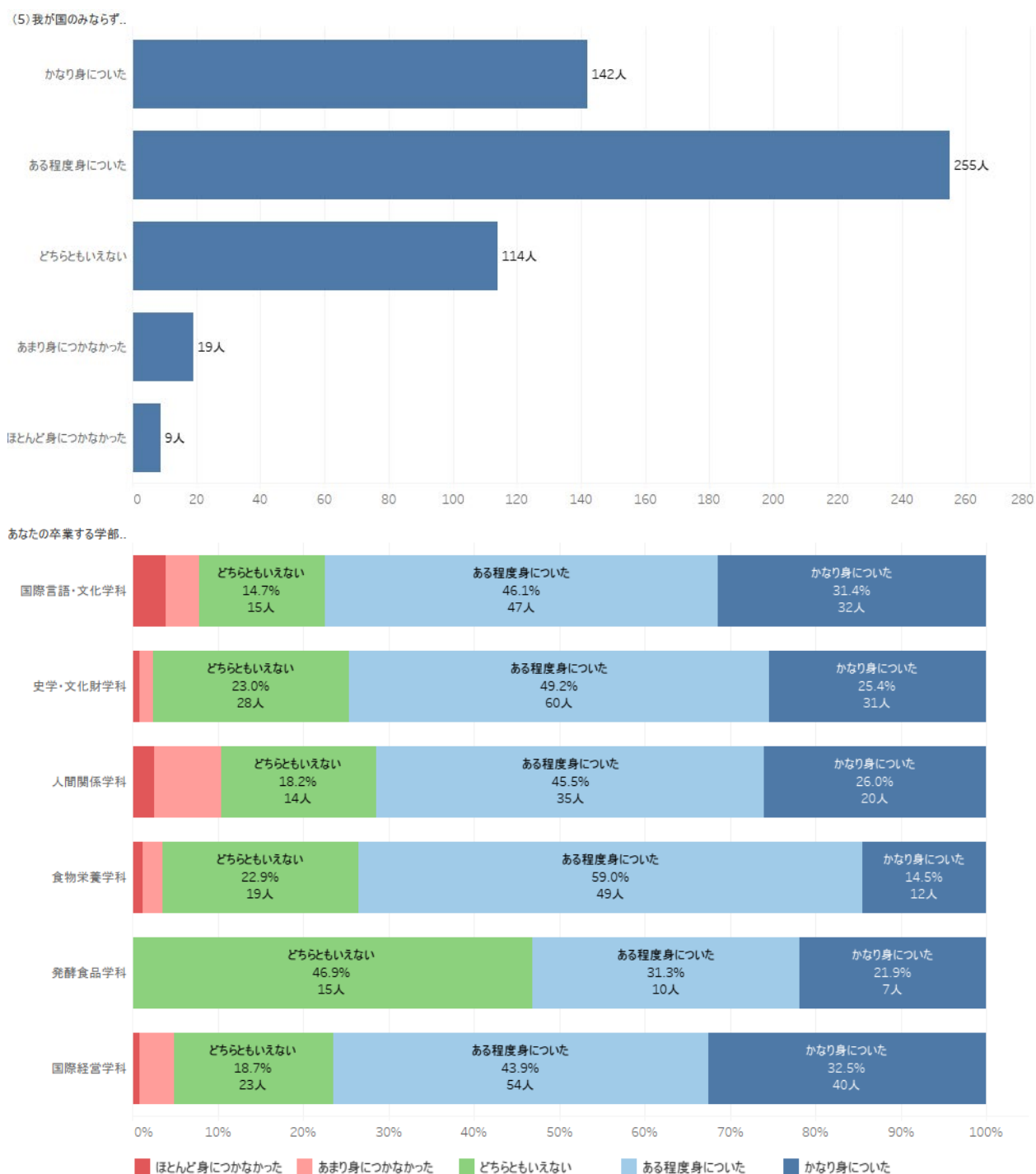


図 15. 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力の修得に対する主観的評価

我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力について大学全体では73%の学生が、「ある程度身についた」以上で回答している。発酵食品学科は53%とやや低い値を示した。

4. その他

その他として (1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと、(2) 卒業論文・卒業研究の研究室(ゼミ)の施設・設備の満足度、(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見(自由記述)、(4) あなたが在学中に「じぶんが成長できた」、と思う経験(自由記述)、(5) 卒業後の進路への満足度、(6) 大学で学びと自身の進路への貢献度、(7) 大学に期待すること(自由記述)、(8) 卒業する学科に期待すること(自由記述)、(9) 後輩へのメッセージ(自由記述)の質問を行った。

(1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだことについて、学科別の集計を図16に示した。

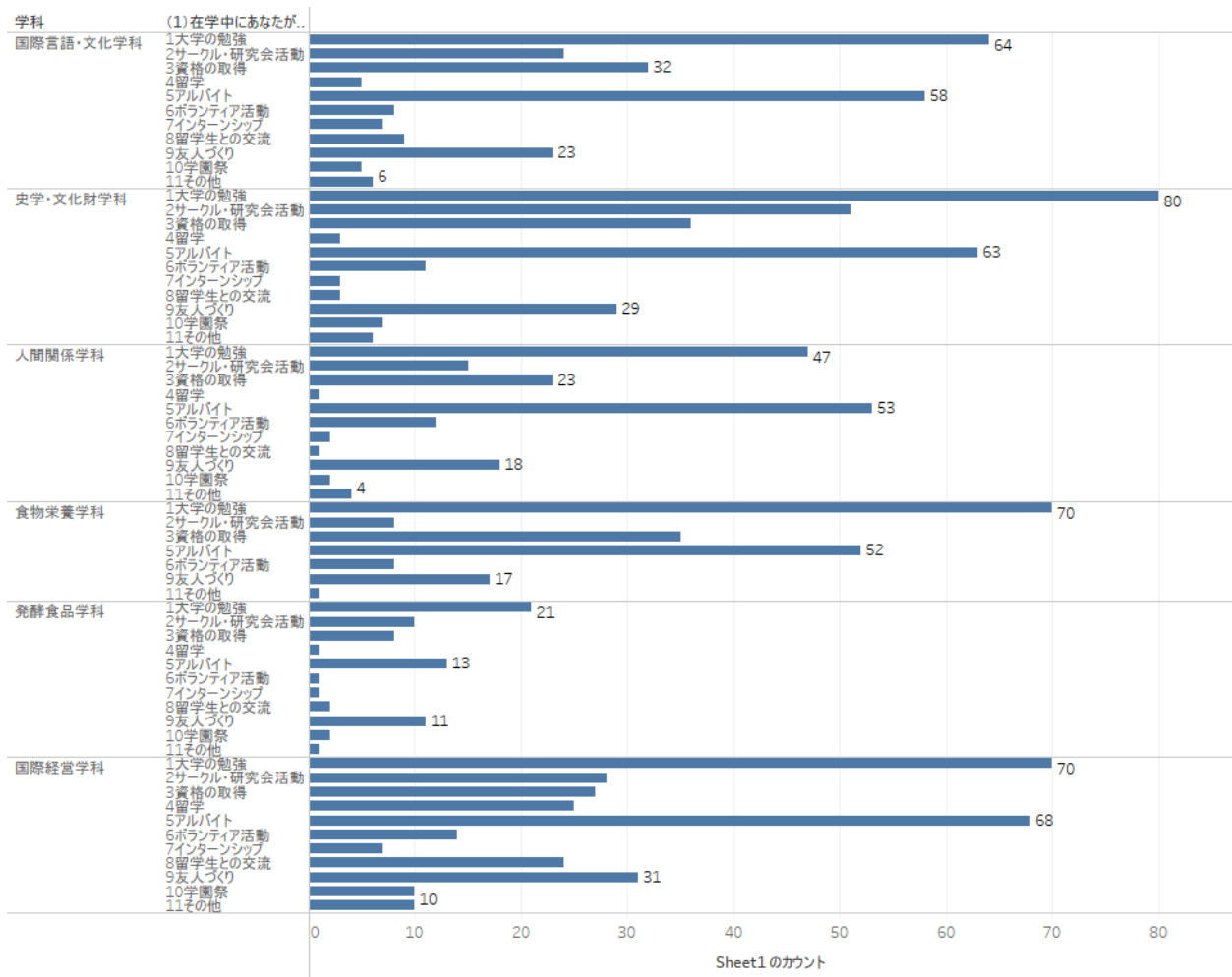
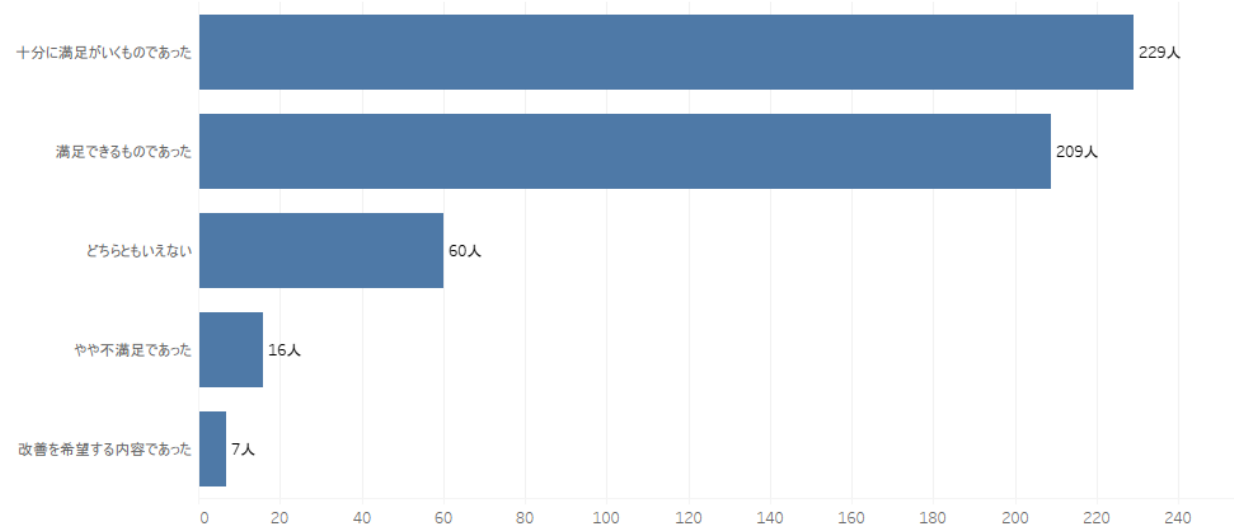


図16. 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだこと

複数回答において最も多く回答があったものは、大学の勉強であった。また次いでアルバイト、資格の取得、サークル・研究会活動の順にあげられた。一方で、インターンシップや学園祭などには経験者が少ない傾向があった。

(2) 卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度についての集計を図 17 に示した。
（全学・各学科）

(2) 卒業論文・卒業研究・卒..



あなたの卒業する学部..

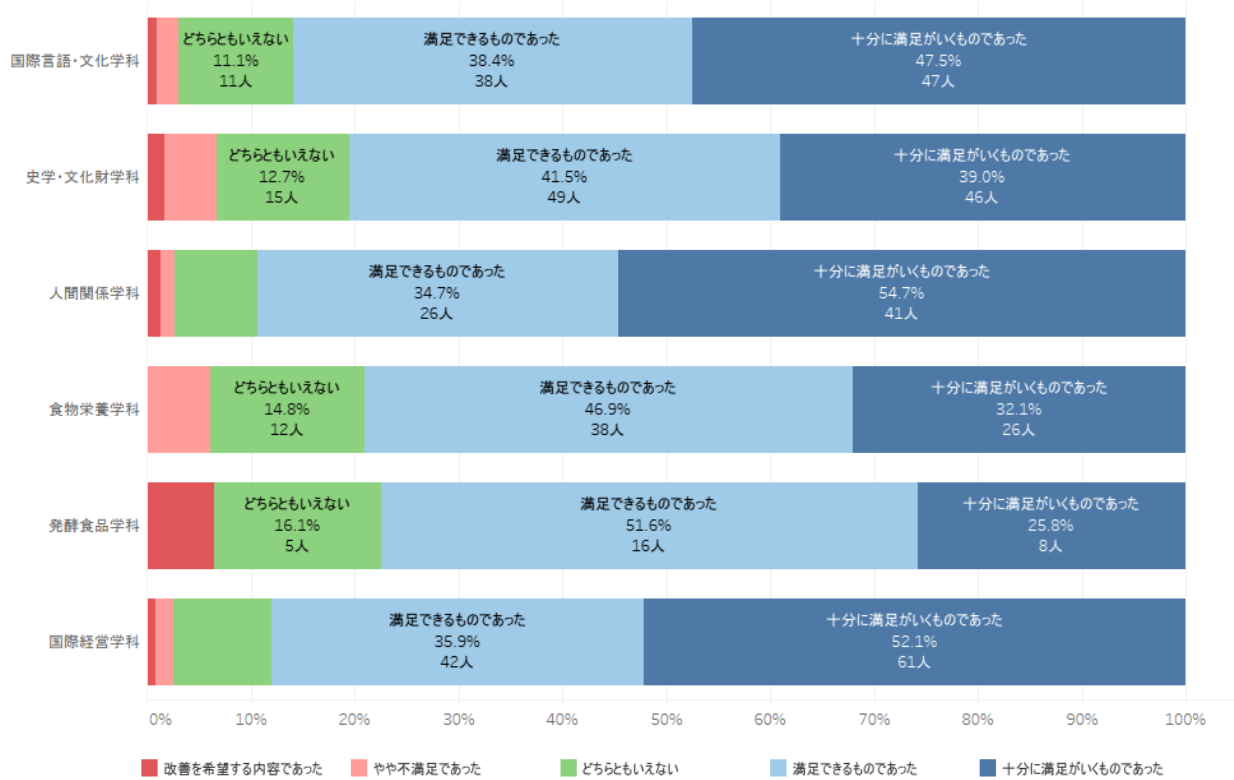


図 17. 卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度

卒業論文・卒業研究の研究室（ゼミ）の施設・設備の満足度については、大学全体では 84%の学生が、「満足できるものであった」以上で回答している。全学科高い値を示した。

(3) 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 18 に表示する。

(<https://textmining.userlocal.jp/>)

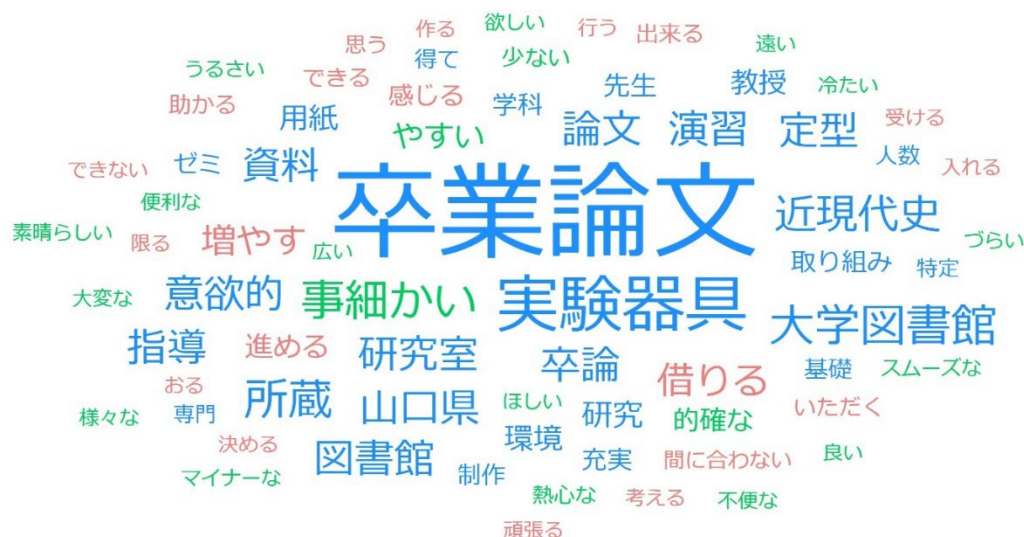
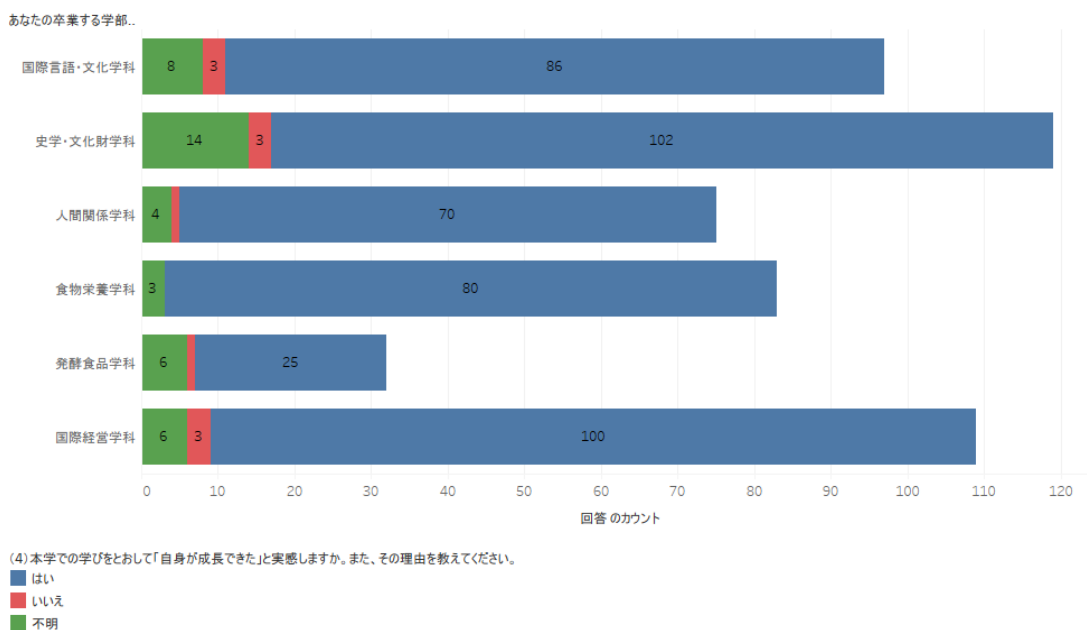


図 18. 卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見に関する自由記述のワードクラウド分析結果

学生からの自由記述にある、卒業論文作成における図書の貸し出しについての不安などが関連を持っていることが示される。自由記述の回答の全文を報告書末に資料 2 として添付する。

(4) 本学での学びをとおりて「自身が成長できた」と実感しますか。また、その理由を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 19 に表示する。(<https://textmining.userlocal.jp/>)



(5) 卒業後の進路への満足度についての集計を図 20 に示した。(全学・各学科)

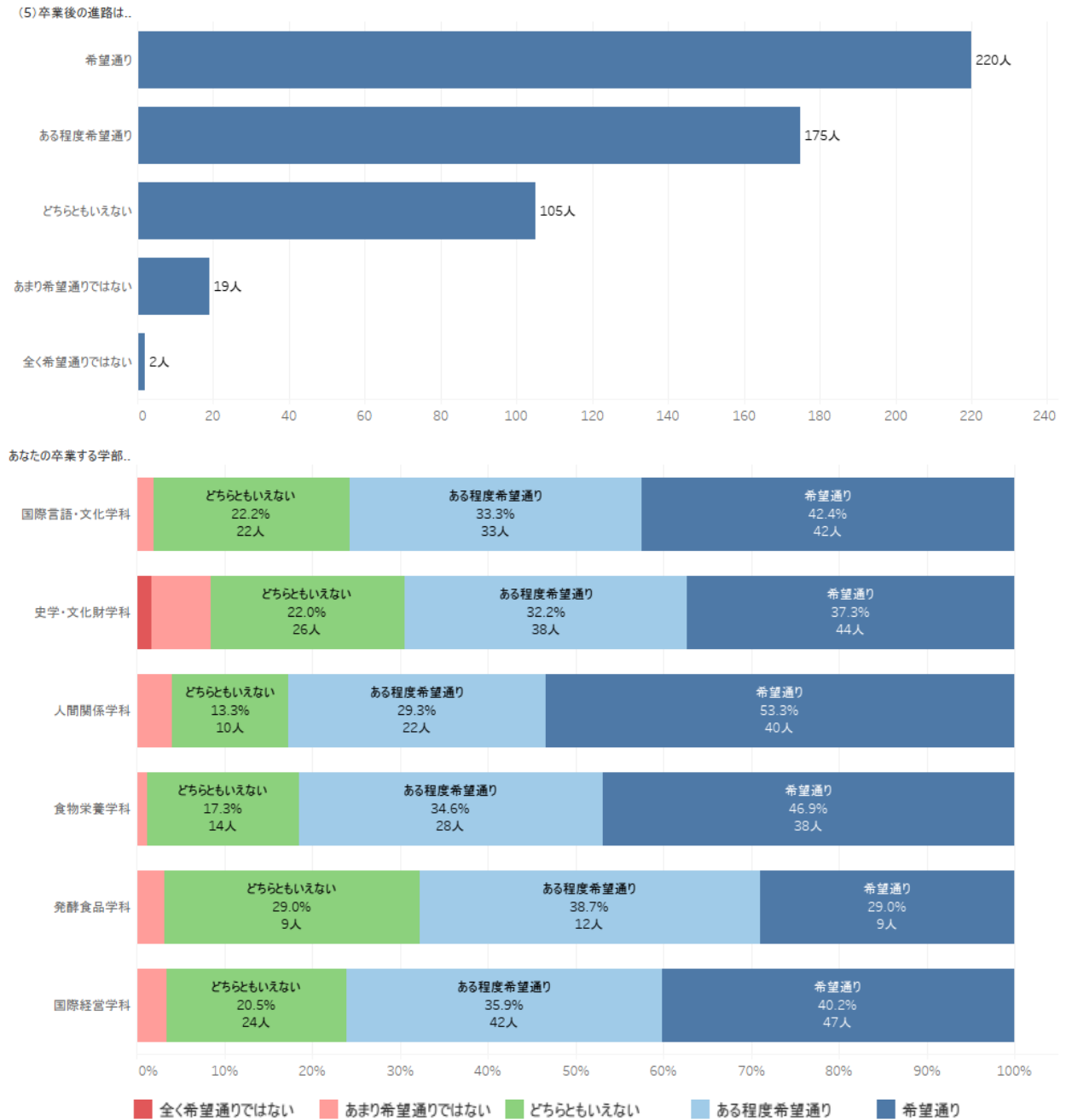


図 20. 卒業後の進路への満足度

卒業後の進路への満足度については、大学全体では 75%の学生が、「ある程度希望通り」以上で回答している。人間関係学科と食物栄養学科は 80%を超える値を示した。

(6) 大学での学びと自身の進路への貢献度についての集計を図 21 に示した。(全学・各学科)

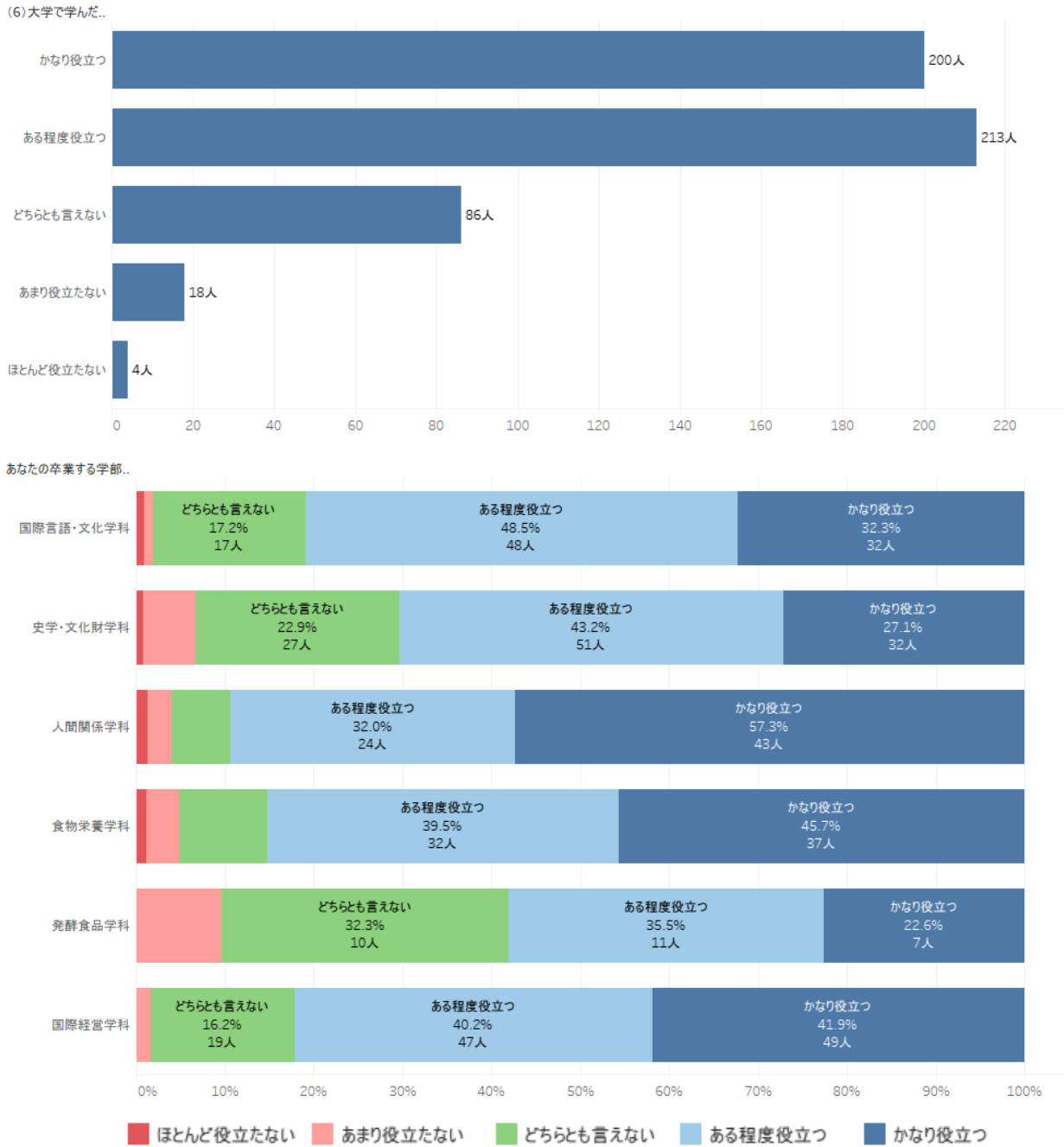


図 21. 大学での学びと自身の進路への貢献度

大学での学びと自身の進路への貢献度については、大学全体では 79%の学生が、「ある程度役立つ」以上で回答している。発酵食品学科は 58%とやや低い値を示した。

(7) 大学に期待することに関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて分析した結果を図 22 に表示する。(https://textmining.userlocal.jp/)



図 22. 大学へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

学生の記述にあるように、コロナ禍であまり学内の人と関わる機会がなかったため、サークルや講義以外でも学生同士のコミュニティなど大学が検討すべきことが述べられている。

(8) 卒業する学科に期待することに関する自由記述を学科ごとに、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 23～図 28 に表示する。

(https://textmining.userlocal.jp/).

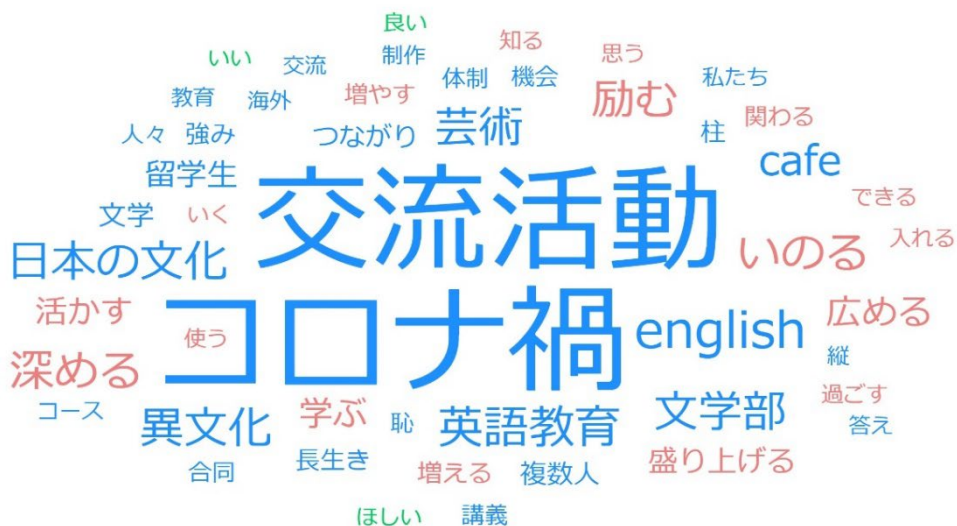


図 23. 国際言語・文化学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

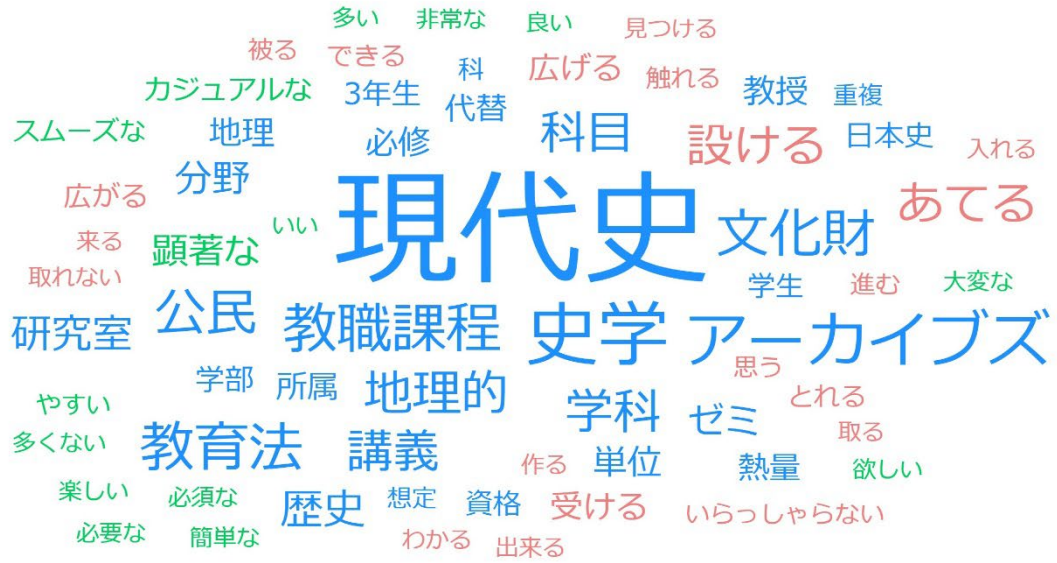


図 24. 史学・文化財学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果



図 25. 人間関係学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

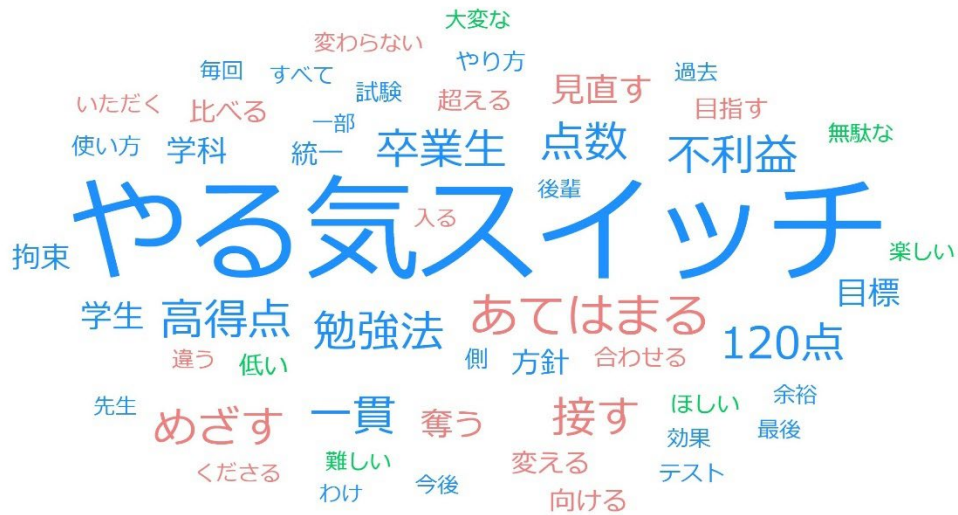


図 26. 食物栄養学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

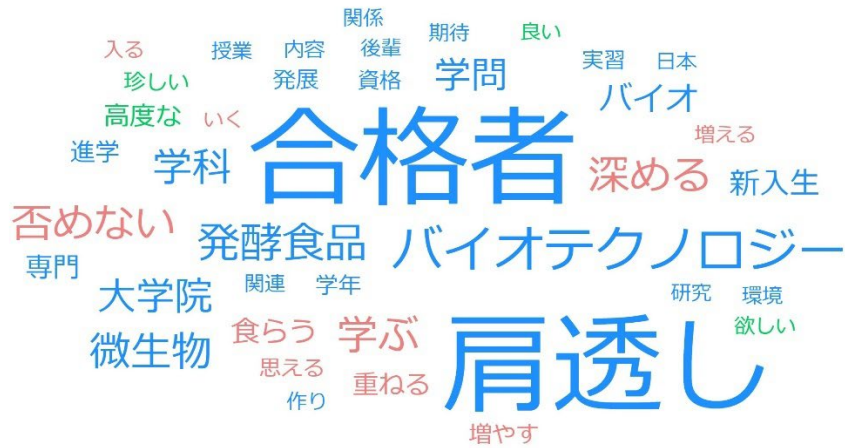


図 27. 発酵食品学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

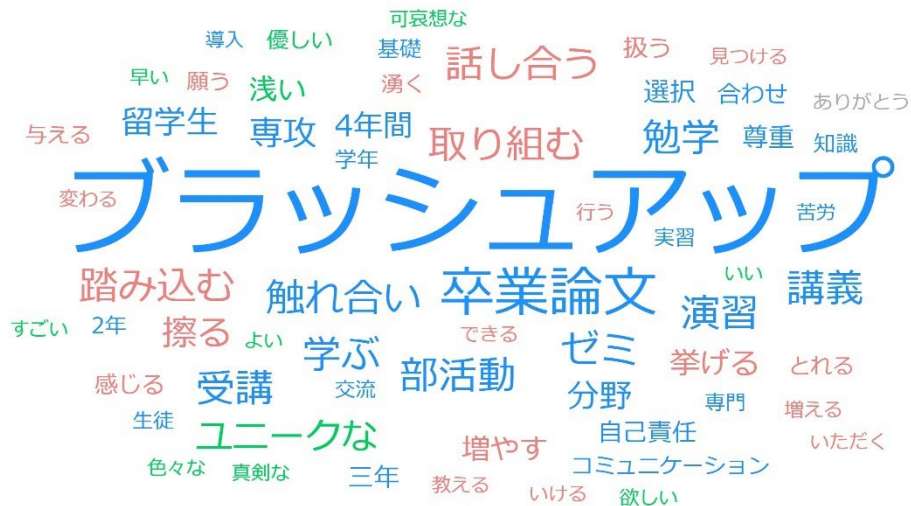


図 28. 国際経営学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

卒業学科へのメッセージでは、卒業する学生からの学科に対する様々な思いが表現されていた。

(9) 後輩へのメッセージに関する自由記述を大学全体として、インターネット上のフリーテキストマイニングツールを用いて、分析した結果を図 29 に表示する。

(<https://textmining.userlocal.jp/>)。

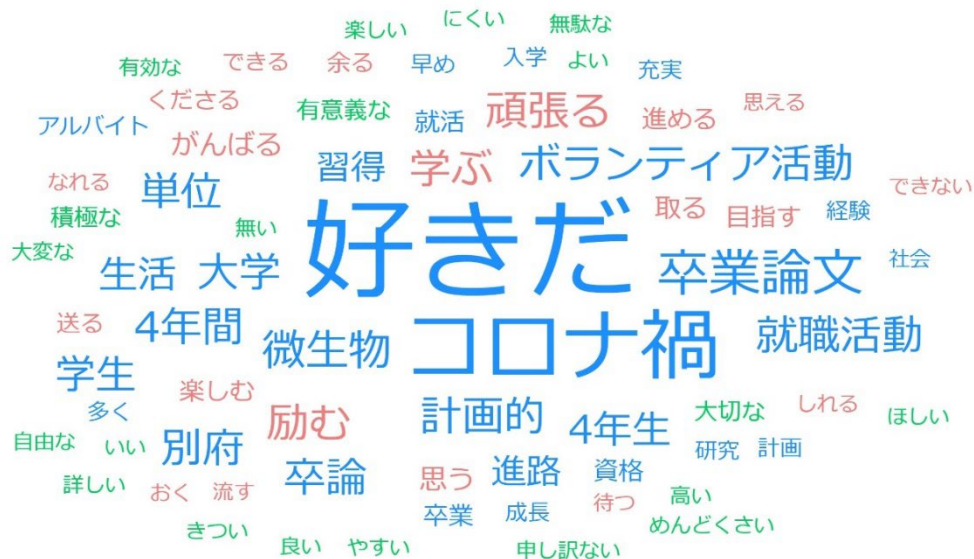


図 29. 卒業学科へ期待することに関する自由記述のワードクラウド分析結果

後輩へのメッセージでは学科での学びなど多岐にわたるメッセージが得られた。

5. まとめ

別府大学では令和5年9月、令和6年3月に卒業する学生を対象として、ディプロマポリシーの項目の定着確認をアセスメントする目的で、2023年8月2日～9月12日及び2024年1月9日～3月20日を調査期間として、卒業時調査を実施した。卒業することが確定している学生554名を調査対象として、回答率90%以上を目標とし、94%が回答した。回答率は昨年度と同じ結果となった。

調査の内容は本学のディプロマポリシーで設定されている項目に基づいて、1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する質問（8項目）、2. 専門力（専門に関する基本的な知識、技能）に関する質問（2項目）、3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）に関する質問（5項目）、その他（正課外活動の状況など）として、自由回答3問を含む9項目について、学生がどのような主観的達成度を感じているかについて調査した。

調査は学生自身の主観による達成度を「かなり身についた」、「ある程度、身についた」、「どちらともいえない」、「あまり身につかなかった」、「ほとんど身につかなかった」の5段階で回答してもらい、主観的達成度が「ある程度、身についた」と回答できる段階までを達成できていると考え、集計を行った。

1. 教養（人間性の形成に資する幅広い知識、技能）に関する8項目についての主観的な修学状況は、大学全体では「(1) 思考力や表現力などの基礎的素養が身につきましたか」に対しては90%（昨年88%）、「(2) 本学の建学の理念、教育方針等を理解できましたか。」については80%（昨年78%）、「(3) 特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力を身につけましたか。」については88%（昨年86%）、「(4) 人間と文化の探求に必要な教養は身につきましたか。」については84%（昨年81%）、「(5) 現代社会の理解に必要な教養は身につきましたか。」については88%（昨年85%）、「(6) 科学技術と自然環境の理解に必要な教養は身につきましたか。」については71%（昨年69%）、「(7) 情報処理の基本的なリテラシーは身につきましたか。」については86%（昨年84%）、「(8) 英語の基本的なリテラシーは身につきましたか。」については57%（昨年52%）という達成判定と評価できる結果となった。

2. 専門力としての「(1) 専門分野の基本的な知識や技術は身につきましたか。」に対しては91%（昨年90%）、「(2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解できましたか。」に対しては88%（昨年89%）の達成判定と評価できる結果となった。

3. 汎用力（社会で活用できる汎用性のある能力）としては、「(1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか（判断力、創造力、企画力などを含む）。」は81%（昨年85%）、「(2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか（主体性、協働力、傾聴力などを含む）。」は77%（昨年78%）、「(3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。」については78%（昨年76%）、「(4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。」については86%（昨年84%）、「(5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心を持ち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか（情報収集・分析力、PCスキルなどを含む）」については74%（昨年71%）の回答が達成判定できる結果であった。

教養では、昨年と比べて、微増な項目もあるが、すべての項目で改善された。昨年は一昨年に比較

して2項目で改善されなかったもので、主観的な評価ではあるが、自信をつけるという教育効果は上がりつつあると評価できよう。6学科でばらつきが出ているが、主観的評価なので単純比較はむづかしい。もともと素養がある学生が多い学科よりも、のびしろの多い学生の多い学科のほうが、達成感は強いことも想定できる。教養の意味づけからすれば、専門から遠い分野での理解度をあげることが今後とも課題となろう。英語の基本的なリテラシーは概して低めであるが、一昨年の46%、昨年の52%より徐々に改善しているので、今後に注視したい。

専門力については、教養に比して高い数値を出している。(2)社会的意義の明確な理解は微減したものの、知識、技術、社会的意義など、学生の自覚が高く、この部分のディプロマポリシーはほぼ達成していると評価できよう。

汎用力は、(1)判断力・企画力と(2)リーダーシップと協調性ではともに微減となったが、(3)自分の考えの表現力、(4)場面にふさわしい言葉遣いやマナー、(5)国際関心や情報収集・分析力などは、いずれも一昨年、昨年よりも順調に好転している。

その他の(5)の進路の満足度では、とくに低い訳ではないが、就職率が高い学科でも、不本意な就職と受け止めている卒業生がいることが窺われる。これを反映して、(6)の大学の学びが進路に貢献したか、の問には全体では80%が肯定しているものの、学科にバラツキがあり、不本意の認識も一定程度あることを示している。

自由記述回答は、今後の改善に参考になることが含まれているので、各学科や各位で検討されたい。

以上

資料1. 別府大学卒業時調査の様式

別府大学 卒業時調査

この調査は別府大学での学びの成果について、本学が定めた学位授与の方針(Diploma Policy : DP)の達成度について、大学を卒業される予定の学生の皆さんへ伺い、より質の高い教育を実践するための改善に用いるものです。調査の回答には、ご自分で振り返って入学時や入学前のあなたのスコアを基礎として、考えてください。回答は5件法で、かなり身についた(1)、ある程度身についた(2)、どちらともいえない(3)、あまり身につかなかった(4)、ほとんど身につかなかった(5)を基本として設問に応じて選択肢は、かなり身についた、かなり思う、かなりできる、など適宜使い分けてください。

学籍番号..... 氏名.....

所属の学科に☑を入れてください。

- 文学部国際言語・文化学科 文学部史学・文化財学科 文学部人間関係学科
- 食物栄養科学部食物栄養学科 食物栄養科学部発酵食品学科
- 国際経営学部国際経営学科

1 かなり身についた
2 ある程度身についた
3 どちらともいえない
4 あまり身につかなかった
5 ほとんど身につかなかった

1. 教養(人間性の形成に資する幅広い知識、技能)

(回答例)→

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | ○ | ● | ○ | ○ | ○ |
| (1)思考力や表現力などの基礎的素養を身につきましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (2)本学の建学の理念、教育方針等を理解できましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (3)特定の主題について、多角的、総合的、複合的に思考する能力を身につけ、体験や実践の中から学ぶことができる力を身につけましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (4)人間と文化の探求に必要な教養は身につきましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (5)現代社会の理解に必要な教養は身につきましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (6)科学技術と自然環境の理解に必要な教養は身につきましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (7)情報処理の基本的なリテラシーは身につきましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| (8)英語の基本的なリテラシーは身につきましたか。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

次へ

1 かなり身についた
2 ある程度身についた
3 どちらともいえない
4 あまり身につかなかった
5 ほとんど身につかなかった

2. 専門力(専門に関する基本的な知識、技能)

- (1) 専門分野の基本的な知識や技術は身につきましたか。
- (2) 専門分野のもつ社会的な意義を明確に理解できましたか。

1 かなり身についた
2 ある程度身についた
3 どちらともいえない
4 あまり身につかなかった
5 ほとんど身につかなかった

3. 汎用力(社会で活用できる汎用性のある能力)

- (1) 論理的に考え分析する能力、常に自らの学びを省察し課題を見つけて改善することができる能力は身につきましたか(判断力、創造力、企画力などを含む)。
- (2) 組織での活動においてリーダーシップを発揮するとともに、他者と協調しながら目標を達成する力は身につきましたか(主体性、協働力、傾聴力などを含む)。
- (3) 自分の考えを的確かつ巧みに文章或いは口頭で表現する力は身につきましたか。
- (4) 場面にふさわしい言葉遣いやマナーや振る舞いを身につけるとともに、豊かなコミュニケーション力は身につきましたか。
- (5) 我が国のみならず国際的な動向や問題に幅広い関心をもち、図書やICT機器を用いて必要な情報を収集できる力は身につきましたか(情報収集・分析力、PCスキルなどを含む)。

次へ

4. その他

- (1) 在学中にあなたが特に力を入れて取り組んだことを挙げて下さい(複数選択可)。

1. 大学の勉強 2. サークル・研究会活動 3. 資格の取得 4. 留学
5. アルバイト 6. ボランティア活動 7. インターンシップ 8. スポーツ
9. 留学生との交流 10. 友人づくり 11. 学園祭
12. その他()記入ください。

(2)卒業論文・卒業研究の研究室(ゼミ)の施設・設備は十分なものでしたか。

1. 十分に満足がいくものであった
2. 満足できるものであった
3. どちらともいえない、
4. やや不満足であった
5. 改善を希望する内容であった

(3)卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見があれば記入してください。(自由記述)

.....
.....

(4)本学での学びをとおして「自身が成長できた」と実感しますか。また、その理由を教えてください。(自由記述) はい いいえ 不明

.....
.....
.....

(5)卒業後の進路は希望に沿ったものですか。

1. 希望通り 2. ある程度希望通り 3. どちらともいえない
4. あまり希望通りではない 5. 全く希望通りではない

(6)大学で学んだことがあなたの進路において役立つと感じていますか。

1. かなり役立つ 2. ある程度役立つ 3. どちらともいえない
4. あまり役に立たない 5. 全く役に立たない

(7)大学に期待すること(自由記述)

.....
.....

(8)卒業する学科に期待すること(自由記述)

.....
.....

(9)後輩へのメッセージ(自由記述)

.....
.....

卒業後の連絡先に関するアンケート

以降は、卒業後の連絡先に関するアンケートです。アンケートにより収集する連絡先情報は、次の利用目的に従い適切に利用します。法令等に定めがある場合を除き、連絡先情報をこの利用目的の範囲を超えて第三者に提供することはありません。

- ・卒業生アンケートの実施のため
- ・卒業生の進路の把握のため
- ・大学・短大から卒業生への連絡のため

携帯電話番号(ハイフン(-)を入れて半角で記入してください)

個人のメールアドレス(学籍番号@s.beppu-u.ac.jp 以外のメールアドレス)

卒業後の住所(決まっていれば回答してください)

保護者の住所

保護者の電話番号(ハイフン(-)を入れて半角で記入してください)

以降の質問は留学生の方が対象です。留学生の方のみ回答してください。

出身国・地域 中国 韓国 スリランカ
 台湾 モンゴル アメリカ合衆国
 フランス

帰国後の携帯電話番号(ハイフン(-)を入れて半角で記入してください)

以降の質問は中国からの留学生の方が対象です。

WeChatID _____

QQメールのメールアドレス _____

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

資料2.「(3)卒業論文、卒業研究時の研究環境に関する意見に関する自由記述」回答

- ・ 資料の収集方法や、テーマを決めるための知識をもっと得てから卒論への取り組みを始めたほうがより良いものができるのではないかと感じました。基礎演習や専門演習でもっと卒論のための時間があるともっと早い段階から意欲的になれるのではないかと考えます。
- ・ 大学図書館に所蔵されている近現代史の資料を増やして欲しいと思います。
- ・ 図書館の歴史の専門書が増えるとより卒論を書くときに便利であると感じた。
- ・ 楽しく活動できた。
- ・ 御指導していただいたお陰で、卒業論文を完成することが出来ました。大変お世話になりました。ありがとうございます。
- ・ 充実した環境の中で、研究できたことを感謝しています。
- ・ 図書館を休日にも開館してほしい。現状の在り方では研究施設としてナンセンス。
- ・ トイレの便座冷たい。4号館の二階の人達かは分かりませんがうるさい時がある
- ・ 研究室の中に入って作業できる人数が限られているので、研究室を広くするか、研究室に入れるだけの人数までしか研究室に所属できないようにしてほしい。研究室に入れずに作業できないことが多々あった。
- ・ 定型の卒業論文の用紙がないため、学科ごとの定型の用紙があればいいと思った。
- ・ ビール造りができる環境が欲しいです。
- ・ 制作が間に合わない時に夜中にアトリエに入れれないのがわりとネックかなと思いました。
- ・ ○○先生をはじめ、様々な方からの支援をいただき制作することができました。
- ・ 基礎的な書物が無い事があり不便だった。7年ほど前からある特定のジャンルの本が借りられており研究に利用できなかった。恐らく教授の誰かが借りて行ったものだと思うがせめて使わなくなったら返却する制度とかを作って独占を無くして欲しい。
- ・ ビーカーやフラスコなどの実験器具が不足していた。また、付着した汚れが取れなくなっているものがあつた。
- ・ 大学構内で本を借りる時に使う機械をしっかりとバーコードが読み取れるものにして、本をスムーズに借りられるようにしてほしいです。
- ・ 熱心に指導してもらえました
- ・ 十分に指導を受けることができない場合があつたため、担当教員の受け持ち人数に制限を設けた方がいいと思う。
- ・ 卒業論文は誰もが頑張つて研究を行っているのに優秀賞を決めるのは嫌な気持ちになった。今回の受賞理由も先生たちから見て頑張つていたと情が入っていて大変だったのはみんな一緒なものになつてしまいました。
- ・ 研究が中々進まなかつた。
- ・ 映像アニメの制作はもっと前倒しの方がいいと思う。全然間に合わない。あと、専攻の先生がよく体調不良になって心配なので副助手のような人がいた方がいい。先生に負担になるのではとかなり相談しづらい環境で大変だった。
- ・ 卒業論文の冊子の作り方や必要なもの等についてのマニュアルを作つた方がわかりやすいと思いました。

- ・ 教授のアドバイスが的確で作りやすかったと感じた。
- ・ 資料の探しとゼミ先生以外の先生にも色々助かりました。
- ・ オンデマンドで行うため、自分の空いた時間に論文を進めることが出来た。
- ・ 施設は完備しており、先生も真剣に対応しています
- ・ 自分の能力をアップさせるには、ゼミとのコミュニケーションが大切です。
- ・ 福祉に関する資料が大学図書館には少ない。もっと充足してほしい。
- ・ 先生が 1 人 1 人に寄り添った指導をしてくださり、相談しやすく疑問をすぐに解決することの出来る良い環境だった。
- ・ 日曜日など図書館の開館時間を増やしてほしい。後輩のためにもよろしく願いいたします。
- ・ ○○先生に沢山助けられました。
- ・ 素晴らしい環境のもと、大学4年間の集大成を無事に完成することができました。
- ・ がんばれた！
- ・ マイナーな作家の伝記や著作等を図書館に入れて欲しいと思った。
- ・ 教授とマンツーマンで、情報集めや構想設定、述べ方など事細かく練ることができたので、自分が想定していたものより、出来が良くなりました。
- ・ 発酵食品学科の中にある実験器具などの老朽化が進んでいたことにより、実験や研究に支障が出たので器具が機材の修繕や新品の入れ替えを希望したいです。
- ・ 必要な資料を集めるのに苦労したので、前もって準備するべきだったと思う反面、県立図書館までの距離が遠いので大学付属図書館がもう少し充実していたらなあと感じた。
- ・ 個別対応的な環境でとても助かりました。
- ・ 先生たちは私にたくさんの助けを与えてくれました。
- ・ もう少し先生への質問やメールなどが気楽に出来れば…とは感じた所です。
- ・ 約半年
- ・ 卒論提出前の期間だけ、いつもより大学を長い時間あけてほしい。
- ・ もう少しいい結果がでるまで、頑張ればよかったと思いました。
- ・ 所蔵の本が少なすぎる。充実した論文等の掲載雑誌を置いて欲しい。
- ・ 他の人の論文を見る場を作って欲しい
- ・ 3 年から卒業論文のテーマについて考える機会があり、卒論について考えやすく取り組みやすい環境だった。また、的確なアドバイスをいただいて卒業論文を進めることができた。
- ・ 大学内でコピーできるととても便利だったと思う。
- ・ 作成の際に担当の先生がわかりやすく説明してくれ親身になって進めてくれたため作業しやすくてとても良いものが出来た。
- ・ 山口県に関する報告書や資料が極端に少ないと感じた。まだ積蔵書庫の山口県のゾーンに空きが多数見受けられたのでもっと増やすべきと思います。
- ・ 文字数増やすの難しい
- ・ とても充実した環境で作業する事が出来ました。
- ・ 強いて言えば、特定の分野の書籍が多い。
- ・ 卒論の書き方の講義があれば楽だと思う。
- ・ ○○先生ありがとうございました！

- ・ もう少し卒業演習をふやすべき
- ・ とても有意義な時間であった。
- ・ 論文を完成させる過程で、私は先生からよく指導を受けた。先生方には大変感謝しています。

資料3. 「自身が成長できた」と実感した理由（自由記述）

- ・ 本学での学びを通して、社会的教養が身についたと思うからです。
- ・ 様々な人たちと、触れ合っていく中で、僕自身すごくたくさんの経験が積めたなと思います。当初は奨学金を借りて大学に通っていることにすごく尻込みしてしまい、やめてしまおうか考えた時期もありましたが、そんな時に友人との思い出や、教師の皆さんの体験話であったり面白い話を聞いていく中で、もう少し頑張ってみたいなと気持ち的にも楽になりました。4年間通い続けてよかったです。
- ・ 絵についての知識を深められたから。
- ・ レポートと比較しても、圧倒的に多量の文章を作成することができたから
- ・ これと言えるものがないのですが、昔の自分より今の自分の方が好きだからです。
- ・ 学科を越えた演習的な活動や、学部の先生との関わりで特にコミュニケーション能力が成長したように感じます。また、情勢等でなかなか思うようにできないことも多かったですが、何事もやりようで、自分の取り組み次第でいくらでも良い方向に進むということが分かったことが一番成長につながった点だと感じています。
- ・ 自分から行動しなければ始まらないことが多いと感じた為、行動力が身につき、成長できた。
- ・ 高校までとは違い、自分で時間割を組み立てられたり、コースを選択して今後の進路を決定したりと自立のための選択を自分で行えたことが大きいと思います。
- ・ 計画的に勉強に取り組むことができたから。
- ・ 実習を通して専門的な知識を学ぶことが出来たと思います
- ・ いろんなことを知れたから
- ・ 資格取得への勉強を友達とともに頑張ることが出来たため。
- ・ 自分の考えを理論的に相手に伝えるように常に工夫して行動することができたから。また、自由な時間を活かして積極的に行動することができたから。
- ・ 人と話せるようになった
- ・ 様々な専門知識やその知識の応用など今まで知ることがなかったことを知る体験ができたことはとてもよいと感じています。特に自分自身はアーカイブズ関係を学んでいたのがそれが顕著でした。専門知識と大学での勉強を経て、自分自身の成長のための確たる部分が構築されたのではないかとも思っています。
- ・ 教職の授業などを通して、ビジネスマナーなどを学ぶことができた。
- ・ 自分から成長しようとする姿勢の大切さを学ぶことができた
- ・ 大学に入って自己管理が大事なことに気づいたので、必要なメールをチェックしたり、提出物の期限を管理していたので、大学に入る前の自分と比較すると成長したのかなと思った
- ・ 講義、先輩や友人たちとの交流を通して、新たな教養やコミュニケーション力を身につけることができたから。
- ・ 専門分野の知識を増やすことができたから。
- ・ 沢山の人とコミュニケーションを取れるようになったこと。
- ・ 大学をやって4年間自分が落ち着いた感じになった
- ・ 学びになるように、成長できるように努力したり経験したりしたため。

- ・ 将来の職業に向けて講義を受けていたので、勉強が楽しかった。また、経営について新しい学びとともに将来にどう活かすかを想定しながら受講できたので、様々な見方や考え方を学ぶことができたことが自分の成長だと感じます。
- ・ サークルや文化会での活動を通して、人と接することの楽しさや難しさを学べたことが自分自身の成長につながりました。
- ・ 勉強と部活の両立を図ることができ、充実した学生生活を送ることができました。
- ・ 勉強する習慣が身についた
- ・ 主に国際交流です。
- ・ 他者とのコミュニケーションの術を身につけることができた
- ・ 専門分野はもちろん、温泉地ならではの授業などがありとても広い知識が身についた
- ・ 色々なことを率先してすることができた。
- ・ 色々な人との関わりで、様々な考え方を知ることが出来た。
- ・ 日本語・日本文学コースで正しい日本語を学ぶことで、自分の就職先である接客業に対しても自信を持って臨めると思います。
- ・ いろいろな価値観を学ぶことができたから。
- ・ 講義や研究室を通して、様々なことに触れ合える機会があり、自分の知らなかった知識や考えを知ることができたから。
- ・ ひとつのテーマに基づいてそれを論ずる方法を得ることができたから。
- ・ 実習などを入学してからやっていたこと
- ・ 俺の絵を見ればわかります。
- ・ 普段お話を聞く機会が無い方から様々なことを学ぶことによって、自分のものの見方が増えたことが教養に繋がったと感じた。
- ・ 多方面から学ぶことが多かったから
- ・ 本大学の講義はグループワークなどが豊富で誰かがまとめないと始まらないし、会話しないと進まないということがあり、これは社会に出ても組織の中で自分の意見を述べたり、他人任せにしないことを学べたのは成長と感じた。
- ・ 様々な知識を身につけることができたからです。
- ・ ゼミの先生の指導によって多くの学びを得ました。
- ・ 考え方がいろいろ大人になったり、いろんな人たちの価値観に触れ合えたから。
- ・ 高校時代には習うことがなかった専門分野について学ぶことができ、それを日常生活でも活用することができるようになったから。
- ・ 大学では、高校までとは違う環境や学び、人がたくさんあって様々に対応できるようになったと思うから。
- ・ 日本語の能力と〇〇ゼミで色んなプレゼンと発表をしながらプレゼンを作るコツや発表する姿勢と言葉遣いなどが成長できました。
- ・ 以前に比べて行動力が身についたと感じる。
- ・ ある程度発酵の知識を得ることができ、パソコンでの作業をたくさん行うことができた。
- ・ 自ら勉強ができる環境だった
- ・ 資格取得できたから。

- ・ 専門的な知識が増え、活用することができているから。
- ・ 勉強や制作を行う際に自分の課題や目標を持つ事ができた。大学の講師の方々を始め、事務の方々の支援により明確な課題、目標を理解し改善、達成する事に務めることができたからです。
- ・ 4年間、単位を落とさず、自分のために頑張れたから。また、たくさんの経験をできたから！
- ・ 大学に入学してから、やりたいことを見つけることができ、また興味関心のある物事を見つけられたから。
- ・ 絵についていろんなことを身についた。
- ・ コロナ禍で大学 1、2 年時が丸々潰れ満足のいく大学生活が送れなかった。その中で不慣れなオンライン授業やオンデマンドでの講義を受けていたが正直それらが身についたかと言われれば頷くことができない。
- ・ 私の得意分野である微生物やバイオテクノロジーなどについて集中して学ぶことができ、バイオ関係の資格を取得できたから。また、卒業研究で先生から助言を賜りながら、学んできた知識を活かして研究に取り組むことが出来たから。
- ・ 管理栄養士国家試験に向けて 4 年間大学に通うことができたため。
- ・ 本学での学びを通して、教職という職業に向き合うことができ、夢を実現することができた点が成長できたと感じる。
- ・ たくさんの知識を得ることができたから
- ・ 管理栄養士の座学だけでなく実践的な面でも学べた。
- ・ 大学での在学中に、管理栄養士資格取得のため及び教養科目の勉強を通して、多くのことを学んだからです。数多くの実習やアクティブラーニングの授業を通して、多角的な考え方や実技を学ぶことができたと感じています。
- ・ 心理学を中心に知らないことをたくさん学び、それに対する探究心を育んだ
- ・ 特に専門分野（食べ物について）幅広く学べて、仕事だけじゃなくプライベートでも活用できる学びが出来たと思います。
- ・ 歴史史に対する考えや昔・今の考えと論理的な考えに対する思考力が身につきました。
- ・ できないと思っていたことにチャレンジしたこと
- ・ 自分の人生で 1 番頑張ったなと思える 4 年間であったから。
- ・ レポートの作成する際に係るファイルの保存（メモリ名）の区別や書き方などが綺麗に書けるように改善された。
- ・ 大学とはいえ様々な考えを持つ人との交流により自分にはないものを知れた事
- ・ 新しい領域の知識や技術を会得できた。
- ・ 人間関係をより同期や先輩、先生方と深く交え交流できたとても良い体験だったと思います。
- ・ 大学で自由に研究でき、友達も多く作ることが出来たことに成長できたと実感しました。
- ・ 私は発展演習 2 の時から、授業や課題で漢文を返り点なしで読み下す練習をしていました。そのおかげで、本学に入学する前より漢文を読み下す能力が上がりました。卒業論文を書く際には、その成長のおかげで漢文を史料として卒業論文の作成に取り掛かることができました。
- ・ この四年間を通して成長できたと感じるが、それが大学生活を経ての成長だったのか、今の自分には判断しかねる
- ・ あまり成長を感じれなかった

- ・ 自分の意見を積極的に発言できるようになった。
- ・ 色々な物事に興味を持って、行動した。
- ・ 知識も増え、考え方も多方面から考えられるようになり選択肢が増えたから
- ・ 専門的な分野を学ぶことができたため。
- ・ 興味がある分野について先生方の力を借りながら学び、研究することができた。
- ・ 自分で考え、自分なりの意見を持つことの大切さを学んだから。
- ・ 人間関係や専門的な知識について学ぶことができたと思うため。
- ・ 大学に来て管理栄養士の勉強を行っていくにあたって様々なことを知ることが出来たため
- ・ やはり心理学という義務教育では習わないこと、高校でも心理学を教育カリキュラムに入れている学校はないので、心理学を大学で学ぶだけでも自分が成長する貴重な経験になった。
- ・ 今までやったことのない仕事をたくさんやってみて、難しかったです、少しずつ克服できました。
- ・ 専門的な知識が身についた。
- ・ 色々な人と出会い、新たな知見を得たことで発想の幅が広がったから。
- ・ 多くの人々と関わり、様々な考え方や感じ方があることを学ぶことができたから。
- ・ やるべき事をしっかりと管理して自分でこなしていけたことや、何事にも積極的に取り組むようになったところが成長した部分だと思いました。
- ・ ○○先生が勉強以外でも多くのことを教えてくださった。
- ・ 専門分野に関する知識をより多く得ることができ、それを活用して自身の主張を行う能力が備わったと考えるから。
- ・ 高校卒業時点と現時点で、考え方が変化したり知識が増えたりしたと感ずるため。
- ・ 私は元々自分含めた人に関心があり、本学に入学しました。大学での学びを通じ、自分をより深く知ることができました。また、人との関わり方や、関わる人の行動などの背景を考えるようになり、人への配慮といった基本的な人間関係が成長したと思います。
- ・ 入学前より、明確に自分の各能力が伸びていると感じている。
- ・ グループワークや共同作業などが多い学部だったのでコミュニケーションを取ったり協力性が身についた
- ・ 元気いっぱいに登校していたから
- ・ 今まで尻込みしていた場面でも発言できるようになったため。
- ・ 専門の勉強に関しては力がついた。
- ・ もちろん授業を受けたことで多少なり知識をえてますが、自分の中で生かせるほど理解しているわけではないので成長していると言えるかどうか。
- ・ 現時点における研究の最前線を講義や卒業論文制作の過程で学び、同時に研究の最前線にいる研究者の捉え方・考え方を身につけることができたから。
- ・ 今まで勉強した事のなかった分野を勉強することができ、また留学生とのコミュニケーションやその国の文化を学ぶことができた。
- ・ 教職課程の授業を通して、さまざまな知識を身につけることができた。
- ・ これまで考えたことのなかったことを考える機会があり、卒論発表などの場で人前で発表できたところです。

- ・ 自分の主張を強く言えるようになりました。ゼミや、コースで話し合いをすることが多く、自分の思いを伝え、目標を達成するという機会がありました。そのため、成長できました。
- ・ コロナなどもあり不安もあったが、自分なりの工夫で努力して成長できた。
- ・ 大学以外では経験することが難しいことを多く経験することができた。
- ・ 様々な人と関わることで物事の考え方など幅広くなったと感じた
- ・ 高校の頃から似たような内容はしていましたが大学ではもっと細かいところを学ぶことができ身になったと思ったからです。
- ・ 色々な人との関わり方を学べた。
- ・ 自ら進んで行動できるようになったため。
- ・ 国際経営について深く学びました。
- ・ ブラインドタッチを習得できたのは自分自身が成長できたと感じる。
- ・ 大学での学びを通し専門知識を身につけることが出来ただけでなく、サークルやボランティアなどの様々な活動に参加し集団をまとめる立場の1人として行動することが出来たため。
- ・ 少しは見識が広がったと思う為。
- ・ さまざまなことに挑戦できたこと
- ・ 大学の講義のおかげで、いろんな人に出会えたから
- ・ 相手と対話するにあたって、尊重すべしうまくいけば、反対する解答をすべしうまいかないこと相手の顔色をうかがい接することを学び成長できた
- ・ 将来の目標を定めることと、それに向けての勉強、また自分のしたい仕事について考えることができ、勉学、就活ともに最後までやり遂げることができた。
- ・ 大学は中学、高校と異なり自分で動かないといけないため、分からないことがあればすぐ人に聞いたり、計画性を持って行動したりと自主性が身についたため。
- ・ 個人的には成長できたと思うが、実際に社会に出ないとどこが成長したのか詳しく話せないなと思って不明にした。
- ・ コミュニケーション力や協調性を学びました
- ・ 自分から意見を言う、わからない場合はちゃんとわからないというなどコミュニケーションをしっかり取る、勉強などを卒業後もしたいです。
- ・ 大学という、あらゆる種類の人達が集まる場で過ごせたということは、それだけ様々な考えや言葉に触れられたということだから。「この世に無駄な学びなんてない」と本学の先生が教えて下さったように、人の言葉や小さな経験の一つ一つを大切に扱ったことで、物事を考える際に多少は柔軟性や深みが出たかもしれないと思っているから。
- ・ 卒論や授業を通して、文章の書き方、課題の解決方法を学ぶことが出来ました。
- ・ 人間関係や教職の理念について成長を見ることができたから。
- ・ 最初の頃は自分の意見をもつことや言語化が難しくレポートがなかなか書けなかったが、大学で様々な分野を学ぶうちに、以前と比べると多角的な視点から意見を出すことができたり、文章化するうえでまとめ方を自分なりに工夫したりできるようになったから。
- ・ 知識もつき、様々なことに対して考えるようになり、一人で行動できるようになったと感じたからです。
- ・ コミュニケーション能力がもともと低かったですが多くのグループワークを得てこれが向上し

たと考えます。またもともと興味のあった文学に関してもより深くより広い見識を得られたと感じます。

- ・ 実習や勉強を通し自分に足りないこと等について学ぶことができた。
- ・ 様々なスキルを学べたから
- ・ 高校までの友人がいない環境で多くの友人を作れて、サークルから授業、最後には石垣祭実行委員などを務めることができたから。
- ・ 大学に入る前は、物事の研究の仕方が分からなかったが、大学に入り、研究の仕方や論文の制作ができるようになった。
- ・ 自身で資料を収集し、共通点・相違点などを見つけ考察するということができるようになった。
- ・ 文章力、表現力、人前で発表する経験などを積むことが出来たため。
- ・ 人との関わりや学ぶことが増えることで考えや視野が広がり、色々な観点から物事を見れるようになった。
- ・ 専門的な知識を養うことが出来た
- ・ たくさんのことを学べて、知識を得ることが出来たから。
- ・ 社会福祉士の資格取得にむけた学習を通して社会福祉の知識を身につけることができたため。
- ・ 日本人として方言についてよく知ることができた。
- ・ 4年間を通して自分なりに成長が出来たのでよかったです。
- ・ 日常生活にも習ったことを取り入れたり自分で改善しようと思う様になりました。
- ・ 努力が身についたから。
- ・ 遠く離れた地域の出身者の人たちとも交流を持つことができたので、その関わりの中で人間関係が広がって成長できたのではないかと思うからです。
- ・ 語学や文学について、じっくり勉強したことによって、学びを深めることができた。また、サークルには入っていなかったが、行事の実行委員をしたことによって、学部を超えた友達ができ良い経験となった。
- ・ 留学やプロジェクトへの経験を通して積極的に行動することが出来るようになった。
- ・ 挑戦的になった
- ・ ゼミの先生からたくさんのことを学んだ。
- ・ 勉強を通して、自分の知識が広がりました。
- ・ 自分の好きな分野を勉強すること・知ることはとても楽しいことを実感できたため、わからないことを調べるという行動を躊躇しなくなったから。
- ・ 行動力が身についたから
- ・ 大学に通ったからこそ、講義などで興味ある分野の知らない新しい情報を得ることができ、行動を起こすきっかけになったから。また、自分に課題が生まれたときに、逃げてしまう傾向があるということも知ることができてより深い自己分析ができるようになったから。
- ・ より専門性の高い知識を身につけることができたから。
- ・ 目上の人とコミュニケーションを取る時のマナーについて学ぶ事が出来たのでその力は社会に出て活かすことが出来るなと思った。
- ・ 前できなかったことをできるようになった。
- ・ 専門的な力を身につけることができたから

- ・ 自分の本当の進路をみつけました。
- ・ 主体性が身につきました。
- ・ 時間の使いかたを学んだ。
- ・ 多くの方々との関わりにより様々な経験が出来た。
- ・ 様々な勉強や友人関係の中で、新しい知見を得ることができた。
- ・ 自分で考えて行動することができたから
- ・ 社会へ行く前の準備をしたようなもの。
- ・ 物事などに対する考え方が身に付いた。
- ・ 自分から積極的に動く事が出来たから
- ・ 物事を考えて言えるようになった
- ・ 友だちがたくさんできた！いろいろな考え方を身に付けられた。
- ・ 自分のやりたいこと・したいことを見つけることができた。
- ・ 1人で解決する力がついた。
- ・ 望んだ進路や知識が手に入ったから
- ・ 思考力を高めることができたから。理解力も高まった。
- ・ 授業を通じて色々な経験ができた。
- ・ 自分がどうしてそう思うのか行動するのかを紐といていくことがきました。自分が今まで認識していなかった沢山の部分を知ることができ、理解を深めることができました。沢山の方にご迷惑おかけしてしまいましたが、とても良い経験になりました。ありがとうございました。
- ・ 社会性を身につけた
- ・ 入学前にできなかったことややらなかったことをやってみたりできるようになったから。
- ・ 色々な事をして出来るようになったこと
- ・ 公務員試験の勉強や、卒業論文佐宇正は自分にとって大きな成長をもたらしたと感じたため。

資料4. 大学に期待することに関する自由記述

- ・ もっと、当たり前で経験できることにしかり、感謝を持って経験をできる学生が増えてほしいなと思います。
- ・ 少しでも大学生活にやる気をもって入学した学生を活かせるようなにもっと力を入れてほしいなと感じました。広報の掲示板などにしかない情報もあるので、せめて moodle に専門のページを設けてボランティアや課外活動で今募集中のものを把握できるようにするなどして、学生がそれを周知すればより参加しやすくなるのではないかと考えます。
- ・ 新型コロナウイルスが流行していた時期に入学したこともあり、1年生の当時は先輩と交流できる機会がほとんどなく、時間割の組み方や資格取得に関する事で相談できる人がいなかったため、学科や学年に関わらずピアサポートのような学生支援のサポートがあることを学内掲示板だけでなくわかるようにアナウンスして欲しいと思います。
- ・ 学生に配慮した環境づくり
- ・ 看護学部が新設されることが非常に楽しみです。私は卒業してしまいましたが、キャンパスがより明るく、活気づくと思いき楽しみです。施設やキャリア教育を充実させて人気のある学部になってください。
- ・ 個人的にもう少し食堂が広くてもいいのではないかと思います。
- ・ コロナ禍であまり学内の人と関わる機会がなかったので、サークルや講義以外でも学生同士のコミュニティがあると便利。
- ・ もう少しだけ、学生に寄り添うことはできませんか。学生の希望を通せる道はないかと考えていただけませんか。すぐ、ダメ、無理、難しいと言って、説明もなしだと学生は納得しないと思いますし、学生から何かをやりたいという思いが減っていくと思います。決まりと仕事と学生の板挟みだと思いますが、ご考慮いただくと幸いです。
- ・ 敷地がもっと広くなると良いと思います。
- ・ インターネット回線の強化大学を夜間にも開放して欲しい
- ・ この先も素晴らしい学生を育てていってください。
- ・ より発酵食品学科が学びを得られる学科になれるような、環境作りを期待したいです。
- ・ 学食を安くしてほしい。
- ・ 高校とはちがい、さまざまな活動がある。
- ・ 国宝級の人間をこれからもたくさん排出されることを深く祈ります。
- ・ 人と人との触れ合いの場を増やす
- ・ 喫煙所を設けたほうが良いと思う
- ・ 連絡を早く回してください。
- ・ 今後も、生徒に寄り添ってくださるご指導、ご支援が続いてくださると、我々生徒一同、勉学に勤しむ際とても助けになると感じるため、今後ともご指導、ご支援していただくとありがたいと感じます。
- ・ 必修科目で社会に出た時に便利な事等を教えてくれたら大変ありがたいと感じた。主に税金関係の話や住まい選びのポイント、精神診断に近いものを行い学生に自分とは、を考えさせる時間を作る。など。

- ・ 別府大学が建学の精神のもと大分の誇る私立大学として今後も学園全体および学術研究等が発展し続けること。
- ・ 4号館1階のトイレの便座が、電源が入っていないのか冷たいままなので、冬だけでも電源をつけるようにお願いします。
- ・ 地域に目指す取り組みをどんどん行って欲しい。地域に必要とされる大学であってほしい
- ・ 就職の支援
- ・ もっと進路の選択肢があれば助かると思います。
- ・ 諸事情があるだろうが教員の交代が大きく非常に残念。別府は温泉が有名なだけに別府温泉大学というキャッチコピーが非常に印象的で温泉学概論など地域性に富んだ授業が展開している点は印象的だった。今後の大学に期待することとして温泉学概論や九州学の継続、温泉に関する授業科目をさらに増やして行ってほしいと考える。地方大学が残る為に温泉学概論などの特徴的な授業が重要になってくるだろう。
- ・ 華やかさ
- ・ より多くのことを学び、成長する
- ・ 学生に寄り添った指導を期待します。
- ・ 学生の駐車場の確保
- ・ 連絡を早くして欲しい
- ・ 今後とも更なる発展を期待しております。
- ・ ほとんど活動は出来なかったけどサークル活動です。いろんな交流は大切だと思うので。
- ・ 証明書関係で500円毎回取られるの地味に痛い
- ・ 学部の拡大です。
- ・ コミュニケーション力
- ・ 素晴らしい人材がたくさん集まりさらに活気ある大学になればと思います
- ・ 更なる発展を期待しています。
- ・ 100年以上の歴史を誇るこの学校が、ますます発展し、より国際的な学校となることを願っています。
- ・ もう少し連絡を早めてほしい急に伝えられると対応に困る。
- ・ 今のままでいいと思います。
- ・ ずっと続いてほしい
- ・ 広い学び大学でそんなこともできるのか、というような体験
- ・ コロナ禍が明けたため、学校行事に力を入れていただきたい。
- ・ 私はキャリアセンターを大変活用したのですが、友人などにその旨を聴くと、入りづらい（利用したいけど入るのに勇気がいる）との意見がありました。ご検討宜しくお願い致します。
- ・ 今後も知識が役に立つこと。
- ・ 今まで通りで良いと思う。
- ・ 図書館の休日開館、33号館の電波環境の整備、駐車場の整備
- ・ 必要な連絡が遅いのもっと早くしてほしい
- ・ アンコンシャス・バイアス減らしてこう

- ・ 変わらず生徒の意見に尊重して欲しい
- ・ 先生方が皆さんとてもいい人ばかりだったのでこれからの別府大学の活躍も期待しています。
- ・ 行事に力を入れてほしい。
- ・ 連絡を早くしてほしいです。
- ・ いかにおうかするか
- ・ 看護学部の新設
- ・ やさしさ
- ・ 全て満足
- ・ アパートの賃貸や退去、在留カードの更新など、留学生の生活を心を込めてお手伝いし、ご案内できればと思っています。

資料5. 卒業する学科に期待すること（自由記述）

国際言語・文化学科

- ・ 後輩達やこれから入ってくる新入生が、学んで良かったと思えるような環境作りを期待したいです。
- ・ 縦のつながりを意識した交流活動、English Cafe の活動継続
- ・ これから先、海外の人々と関わる機会も増えると思います。日本人として恥のないように、これからも英語教育や日本の文化についての教育に力を入れてほしいです。
- ・ 先生たちが絶対に長生きしてほしい。
- ・ 文学部の中に芸術コースがあるので、ここで学んだ事、経験を活かし、文学と芸術、2つの柱を強みにして、より良い表現、制作ができるよう今後とも励んでいきたいと思います。
- ・ もっと複数人体制にしてください
- ・ 私たちはコロナ禍での大学生活を過ごしたため、もっと海外からの学生たちと交流できる機会が増えたらいいなと思う。
- ・ 異文化系の講義を増やしてもいいと思う。
- ・ 個人的なことではあるのですがそれぞれの「言葉」についてどう思っていたか知りたかったと思います。 自
分の答えをよりよく理解を深められることをいのっています。
- ・ 留学生も合同で学ぶ機会が増えればいいなと思います。
- ・ 専門的なこと
- ・ 横の繋がりや交流
- ・ 方言についてもっと全国に広めてほしい。
- ・ これからも芸術を使ってもっと地域を盛り上げてほしいです。

史学・文化財学科

- ・ 発酵食品学科が日本でも珍しい発酵食品と微生物バイオテクノロジーを専門とする学科として、バイオ関連の研究を深めていき、さらに発展していくこと。また、バイオ関係の資格の合格者や、大学院への進学者が増えること。
- ・ 専門的な学問を学ぶことができる
- ・ 度々教職課程の講義と史学・文化財学科の講義が同じ時間に重複していたことがありました。特に必修の科目や3年生以上からしか取れない卒業必須単位の科目が被っていたこともあり、代替できるほかの科目に想定以上の人数が登録されることもありました。どちらも講義の数が多く、調整するのは大変なことだとはわかっていますが、できるだけスムーズに卒業単位も資格に必要な単位もとれるようにしてほしいと思います。
- ・ 歴史に関する学部でありながら、地理的分野や公民的分野の専門の教授と連携した授業を受けることができたので、非常に満足しています。(例えば歴史地理や公民科教育法など) また、課題もそこまで多くなかったのも、自分がしなければならないことを見つけ、行動する時間にあてることができたので良かったと思っています。気になった点は日本史・アーカイブズコースのゼミの種類です。もちろん、学生の熱量や予算的な問題があると思いますが、現代史の担当の先生がいらっしやらなかったのが気になりました。現代史は研究がどの程度進んでいるかわかりませんが、現代史に関する授業やゼミがあると学生の選択の幅が少し広がるのではないかと思います。

ました。

- ・ 結局史学だけ学科別の研修（城島高原とか）ありませんでしたね。
- ・ もっと近代史関係の本を図書館に入れてほしい
- ・ 自分が在籍する学科はとても多様性がある講義を受けることができ、教授方も熱意のある人ばかりで大変楽しく講義を受けることが出来た。期待するのは、もっとカジュアルに歴史に触れる機会を1年時に設ける事。いい展示が来てるから見に行きましょう。など。
- ・ 史学文化財には研究室に所属できるということですが、他の学科で歴史に興味ある学生も所属できるように範囲を広げたほうが研究室活動も続行しやすいと思います。
- ・ 今のままでいいと思います。
- ・ 複数の資格を取りやすい環境を作る他学科との壁を顕著に感じた
- ・ 世界史系の講義を簡単にしてほしい。

人間関係学科

- ・ これからも少人数で1人1人に寄り添った指導を期待します。
- ・ 今後とも更なる発展を期待しております。
- ・ 人間関係学科で福祉や精神、心理を学ぶ学生が学べてよかったと思える学科になってほしいです。（私はもちろん人間関係学科に所属しさまざまなことを学べて良かったと思ってます。）
- ・ 社会福祉士合格者の増加
- ・ やさしさ
- ・ 全部自分に返ってきますよ

食物栄養学科

- ・ ○○先生へ 無駄に学生を拘束して時間を奪うのは学生側も先生側も不利益しかないので時間の使い方を見直していただきたいです。
- ・ 試験に向けての目標が120点以上めざすや後輩の点数を超えるように高得点を目指すなど毎回違い、目標に合わせた勉強法に変える余裕はないため、目標は一貫して統一してほしいです。また、過去に一部の卒業生の方が効果があった(最後のテストを難しくして点数が低くなり、やる気スイッチが入ったなど)ものでもすべての学生にあてはまるわけではないためやり方を変えてほしいです。
- ・ 他の学科と比べて大変だが、楽しいこともたくさんある。
- ・ 今後も変わらない方針で接して下さること。
- ・

発酵食品学科

- ・ 実習をもっと増やして欲しいです。
- ・ 後輩達やこれから入ってくる新生が入るが、学んで良かったと思えるような環境作りを期待したいです。
- ・ 発酵食品学科が日本でも珍しい発酵食品と微生物バイオテクノロジーを専門とする学科として、バイオ関連の研究を深めていき、さらに発展していくこと。また、バイオ関係の資格の合格者や、大学院への進学者が増えるこ

と。

- ・ 学年を重ねるにつれ、もう少し高度な授業内容に期待していた所があるので少し肩透しを食らった感が否めない。
- ・ 専門的な学問を学ぶことができる

国際経営学科

- ・ 実習をもっと増やして欲しいです。
- ・ 学年を重ねるにつれ、もう少し高度な授業内容に期待していた所があるので少し肩透しを食らった感が否めない。
- ・ 導入演習や基礎演習で扱う内容はもっと専門分野にも踏み込んでよいのではないのでしょうか。理由としてはゼミ選択までに自分の興味と、専攻分野との擦り合わせをもっと早い段階で行いたい感じたためです。実際に選択を行う2年次ではまだまだ知識も浅く、ゼミに入ってから興味の湧くことを見つけ、それを卒業論文のテーマにするという形だったため、なんとなくでゼミを選択した場合かなり苦勞する形になるのではないかと感じています。自己責任と言えばそうですが、個人的に1, 2年の演習は時間に余裕を感じたため期待することとして挙げさせていただきました。
- ・ 学年同士の交流の場を増やしてほしい。
- ・ 人と人との触れ合いの場を増やす
- ・ 十分でした。ありがとうございます
- ・ 知識を与えるだけでなく、そこから考えて話し合っただけでブラッシュアップしていけるような講義
- ・ 三年次でこれまで受講できていた講義を受講できなくなったのは残念
- ・ 学ぶ内容や講義名などユニークな講義が増える事を期待してます！
- ・ 特にありません。先生たちすごく優しくわからないことを優しく教えてくれました。今まで本当にありがとうございました。
- ・ 卒業論文は、やらなくてもいいと思います。自分でやる人が可哀想です。
- ・ 色々な先生にお世話になり、4年間勉学と部活動に真剣に取り組むことができました。ありがとうございました。
- ・ その仕事ができることを願っています。
- ・ 留学生とのコミュニケーションをとれる場をもっと作っていくこと。
- ・ 変わらず生徒の意見に尊重して欲しい
- ・ とても満足している

資料6. 後輩へのメッセージ（自由記述）

- ・ 当たり前に通えると思えず、一つ一つの時間を大切にしてほしいです。学校生活も、アルバイトの時間も、また友人の時間も、きついなめんどくさいなと思うことは沢山あります。逃げ出した方が楽になる時だってあるとは思いますが、4年間濃い生活をする事で、高校卒業の自分自身より胸を張って成長したと言えると思います。皆さんも頑張ってください。
- ・ 友達は作っとう
- ・ 少しでも興味の沸くものがあれば、なんでも少しだけやってみましょう。例えば楽器の演奏に憧れたらレンタルしてみたり、動画を撮ってみたいと思ったら投稿はせずとも自分で撮影・編集をしてみたり、時間のある今がなんでも始めやすくてやめやすい時期です。なんか違うなーと思えばやめちゃいましょう。勿論趣味だけではなく、課外のセミナーに参加して見たり、インターンシップに行ってみたりするのも良いです。少し緊張すると思いますが、決して無駄にはならない経験ができると思います。私はどちらも就活でかなり役立ちました！別府大学に志高く入学した方は、空気感に少し肩透かしを食らっているのではないのでしょうか。周りと調和を取ることも大切です。でも、自分の本心には素直に、周りに流されずにやりたいことをやってみましょう。大学生活は良くも悪くも干渉されにくい自由な時間だなあ、と私は感じたので、友達を作って楽しく大学生活を送りながら、やりたいことにはまっすぐになれたら最高なんじゃないでしょうか？楽しい四年間にしてくださいね！
- ・ がんばれ
- ・ 高校までとは違う環境で色々と試行錯誤しながら勉強に励んでいると思います。卒業後の進路をどうするのか、卒業論文を書くためにはどうすればいいのか、就職活動はどうするのかなど多くの悩みがあると思いますが、先生方や事務の方々がたくさんサポートしてくれるはずですよ。
- ・ 頑張れ～
- ・ 卒業論文は早めに計画を立ててください。
- ・ 4年生の冬になって痛感しましたが、学生のうちは時間が非常に余っているのです。その余った時間は有効に使いましょう。もちろん、ゲームやギャンブルに費やす学生もいますが、なんとなく生活を送っている学生も少なからずいるのではないのでしょうか。私もそうだったことがあります。しかし、大学を卒業すると待っているのは社会です。周囲の人々に負けないようにするためにも、計画的な行動をしてください。加えて、学生のうちでしかできないことをしてみてください。旅行や資格を取ることで、留学やボランティア活動があると思います。さらに詳しく言うなら「別府大学だからこそできること」をしてみてください。皆さんはもう大人なので「できない」が言い訳にすぎないことを知っていると思います。お金が足りなければ制度を使ったりアルバイトに精を出してください。そうして学生のうちしかできないことを積み重ね、素敵な社会人になってください。一足先に待っています。
- ・ 資格はとれるだけとったほうがいいと思います。個人的にはアーカイブズ関連がいいと思います。そのことについてつまみこまれる可能性が高いです。
- ・ 頑張ってください。
- ・ コロナ禍で何もかも違う時の学生なので、教えられることが少なかったと思います。申し訳ない。皆さんはコロナ禍と緩和の中間の学生たちなので、今後もその時に身につけた対応力は役に立つ

と思います。

- ・ 自分の進路を意識して講義を受けると面白くなるよ！
- ・ 卒業論文は早めに取り組みましょう。
- ・ 就活と卒論頑張ってください。
- ・ 3年生の後期はさらに授業忙しくして頑張る人ほど人間関係がうまくいなくなるため、4年生に話を聞いてもらったりアドバイスを貰ってください。
- ・ 入学当初は自分の進路に迷って沢山悩んだ時期もありましたが、別府大学でよかったと今は心の底から思えます。ぜひ、学生生活を楽しんでください！
- ・ 発酵食品学科に入っているけど、発酵食品や微生物に興味がない人も多いと思います。それでも学んでいると、自分の知らなかった世界を知ることができ、それは時に自分の人生が変わるものになるかもしれません。興味のないことでも、割とちゃんと学んでみてください。
- ・ 国試を受ける人は4年生になるにつれ勉強が他の学科とは違い大変ですが遊びや勉強を両立しながら大学生活を楽しんでください
- ・ 僕に後輩はいませんでした泣
- ・ 学業に励んでください
- ・ 頑張ってください
- ・ 頑張ってください。
- ・ 学生生活楽しみながら、学業も頑張ってください。
- ・ 4年間楽しんでください
- ・ 卒論は計画的に行った方がいいです。
- ・ 色んな活動や発表の機械があると思いますけれども、自信がなくても参加して挑むことで自分を成長させることが出来ると思います。早い者勝ちですから悩まず一様参加してみてください。大学で恥ずかしい目になっても結局、社会人になったときの思い出と経験に変え、立派な人として成長させる礎になります。
- ・ 今しかできない経験や学びを胸いっぱい吸い込んで勉学と遊びを楽しんでほしいなと思います。
- ・ 休学は悪い事でも無駄なことでも無いです！それは高校時代のような留年ではなく、自主的に休むという事なので計画的に行えばより良い大学生活が送れます。
- ・ 今後さらに微生物やバイオ関連の研究を進めて、最先端を目指してほしいです。また、私の研究内容であるプラスチック分解微生物についての研究を進めて、新たな発見をして欲しいです。
- ・ 勉強も大切ですが、時間を有意義に沢山のことにチャレンジしてください。たくさん色んなことに行き遊んでください。
- ・ 頑張ってください
- ・ 自分らしく頑張ってください。
- ・ がんばれ
- ・ 単位は早めにとっておいてください！
- ・ 映像の卒制は、かなり前倒しで作るべき、すごい大変。
- ・ とにかく、別府大学はいろんなことを学べる事が出来るのでこれからもいい学生生活を送ってください。

- ・ 卒論は計画的にした方がいい。
- ・ 英語コースに進学する学生は、積極的に英語を話す機会を増やし、コミュニケーションを取るとより楽しく英語を学ぶことができ、よりよい大学生活を送ることが出来ると思います。
- ・ キャリア支援センターの方々が進路や就職活動にとっても協力して下さるのでぜひ積極的に活用して行って欲しい。
- ・ 大学4年間で何を習得したい、目指したいか日々考えることが重要だろう。また、資格習得に関しても習得できる機会があればなるべく多くの機会に挑戦することが良いだろう。
- ・ わかんない事、不安な事、就活のやり方、単位の取り方、卒論の書き方 etc... 教わるのを待つよりも自分から教わりに行った方がいいですよ！行けば身につく行かなければ無知のまま高校卒業したらどこも全部が全部教えてくれる所ではないので！
- ・ 好きなことをしながら、のんびり学べる大学だと思います。別府での4年間は自分にとって大変楽しい時間でした。社会に出るまでにたくさんのことを吸収してください。
- ・ good luck
- ・ 勉強頑張ってください
- ・ 活用することができるものはすべて使って多くの物事を吸収してより良い進路を切り開いてください。
- ・ 親と地元を大切に下さい
- ・ 頑張ってください。
- ・ 気楽に頑張りましょう。
- ・ がんばれ
- ・ 頑張り給え
- ・ 自分にしかできないことを知るには自分について知る必要があると思います。別に大学で見つけずに一生かけて見つけることになるかもしれません。大学での経験が活かされることをのっています。
- ・ 単位は、1年2年でほとんど取るように。後回しにしない
- ・ 頑張れ。
- ・ 卒業に向けて頑張ってください
- ・ ファイト
- ・ 学生時代を大切にしてください、それは忘れることのできない楽しい思い出です。
- ・ サフランでお昼ご飯食べてね
- ・ 後悔の残らない学生生活を送ってください。
- ・ テストとか、単位とか、バイトとか大変なことは確かにあるけど、4年間あっという間だから、楽しんで！
- ・ 就活や単位取得でもう終わったな一っと思うことが何度かあるかもしれないけど何とかなので諦めずに頑張ってください。あと、自分は無理と決めつけずにチャレンジすると案外いい結果が出るのでどんどんやってみてください。
- ・ 陳腐になるが、やろうと思ったらとりあえず行動をおこす
- ・ 学ぶことに最適解を求めず、卒業するまでは様々な方向に寄り道してみてください。単位に関係ない先生の講義を聞いてみたり、ただ先生とお茶してみたり、バスツアー、サークル、文化祭など

どんどん参加してみたり…。思いもよらない所に学びは落ちています。4年間かけてじっくり探してみてください。

- ・ 計画的に物事を進めることが大事です。
- ・ 有意義な大学生活を過ごしてください。
- ・ 頑張ってください。
- ・ 授業などとても大変かも知れないけど頑張ってください。
- ・ 自分のペースで頑張ってください。
- ・ 卒論は計画的に
- ・ 資格取得を本気で目指すなら一年や二年の頃から授業を頑張ろう！
- ・ 在学中に何か一つでも夢中になれることや目標を決めると大学生活がより充実すると思います。
- ・ 論文は端的に書くべからず
- ・ 大学生活は本当にあっという間に終わるから好きなことは早めにやっておいたほうが良いです。
- ・ これからの人生ともに頑張りましょう。
- ・ 大学生活は、許される自由が増えるからこそ、すべてのことに責任をもつことが大切だと思いました。こんなに時間が取れる期間は、大学を卒業するときと無いと思います。ついつい、時間がたくさんあるとだらけてしまいがちですが、後悔のしないように、卒業するとき人として成長できているように、何か1つこれだけはがんばりたいというものを決めておくと周りに流されず、夢に近づくことができると思います。みなさんが大学生活を通して叶えたいことはありますか？充実した素敵なキャンパスライフを送れますように。応援しています。
- ・ ぜひボランティア活動などに積極的に参加してほしい(いい経験になるし、就活で使えるから)
- ・ 先を考えて行動することが大事
- ・ 大学生活を楽しんでください。
- ・ 単位は計画的に取る
- ・ 頑張ってください。
- ・ 頑張って
- ・ 好きな事を勉強するのが一番おすすめです。
- ・ 必要な単位は早めにとろう。
- ・ ○○先生と○○先生を頼った方がよい。いい先生。
- ・ 卒業論文はコツコツやっぺいこう
- ・ 自分を信じて！
- ・ 人間じゃない生活をたくさんしてね
- ・ 別大さいこう
- ・ 厳しいこともあるかもしれませんが、自分がやってることを信じてがんばってください。
- ・ 体に気をつけて！
- ・ 先生達をたくさん頼りましょう。
- ・ がんばれ
- ・ 充実した時間を！
- ・ 正直で、信頼でき、前向き。